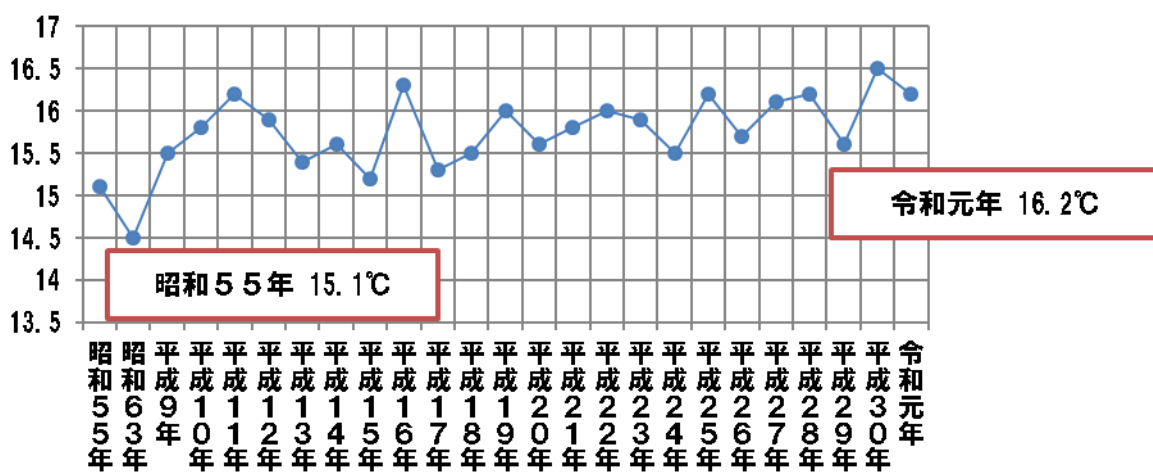


綾瀬市環境報告書

令和元年度取組結果

綾瀬市の平均気温



◇綾瀬市の平均気温の変化:昭和55(1980)年から平均気温が1.1°C上昇
※要因として、ヒートアイランド現象や地球温暖化が考えられます。



目 次

1	はじめに	1
	第2次綾瀬市環境基本計画	2
2	令和元年度の取組評価（まとめ）	3
3	各計画の報告	
	(1) 第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標結果	6
	(2) 第3期綾瀬市環境行動計画 取組結果	9
	(3) 綾瀬市地球温暖化対策推進計画（区域編）取組結果	12
	(4) 第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）取組結果	21
	(5) あやせ環境教育推進基本計画 取組結果	27
	【 資料編 】	
	(1) 第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標	30
	(2) 第3期綾瀬市環境行動計画	34
	(3) 第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）	44
	(4) あやせ環境教育推進基本計画（アクションプラン）	50
	(5) 市民環境団体の活動報告	57
	(6) エコっと21（事業所編）登録事業所活動報告	61

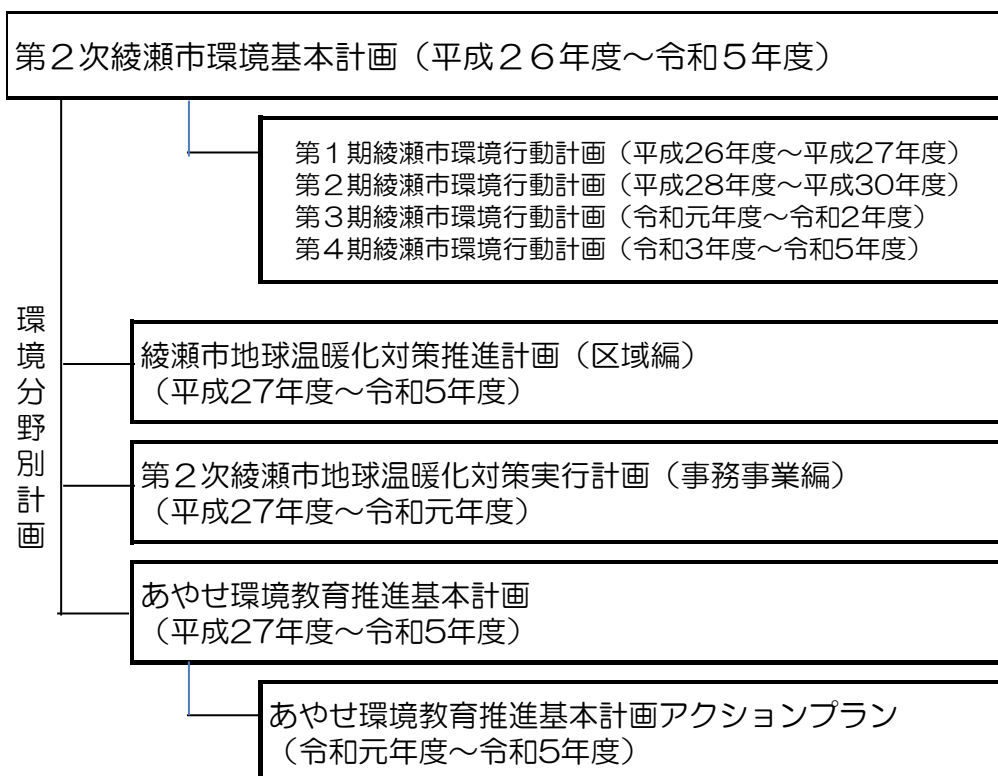
1 はじめに

本報告書は、綾瀬市環境基本条例第12条の規定により、「第2次綾瀬市環境基本計画（以下「基本計画」という。）」に基づき、令和元年度に実施した施策の状況等を公表するものです。

基本計画は、環境分野のマスタープランであり、6つの環境の将来像、20の基本目標の実現に向けて、市民・市民団体、事業者、市の取組内容等を示し、計画の進み具合を確認するため、環境目標や政策目標等の指標とその達成状況を示しています。加えて、環境保全などの取組内容については、「綾瀬市環境行動計画（以下「行動計画」という。）」として設定し、概ね3年毎に見直しを図っています。

また、環境分野別計画を策定し、各種環境施策を推進しています。

- ・綾瀬市地球温暖化対策推進計画（区域編）（以下「区域編」という。）：本市域から排出される二酸化炭素を削減するための計画
- ・第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下「事務事業編」という。）：1事業所として綾瀬市役所（本庁舎及び出先機関）から排出される二酸化炭素を削減するための計画
- ・あやせ環境教育推進基本計画（以下「教育計画」という。）：環境教育・環境学習を進めるための計画



【 第2次綾瀬市環境基本計画 】

基本
テーマ

環境の将来像

基本目標

あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを實踐し、安全なまちづくりを進める

あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして

環境の将来像Ⅰ
豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち
(自然共生社会の構築)

- 1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます
- 2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします
- 3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります
- 4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます

環境の将来像Ⅱ
生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち
(生活環境の保全・改善)

- 1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします
- 2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります
- 3 航空機騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住み良いまちにします

環境の将来像Ⅲ
歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち
(文化・都市環境の形成)

- 1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます
- 2 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくります
- 3 人と環境にやさしい交通体系を整備します
- 4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます
- 5 ごみが散乱しないきれいなまちにします

環境の将来像Ⅳ
ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち
(循環型社会の構築)

- 1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します
- 2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます

環境の将来像Ⅴ
地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち
(低炭素社会の構築)

- 1 電気・ガスなどの省エネルギー化やエネルギーの有効利用を進めます
- 2 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めます

環境の将来像Ⅵ
環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち
(協働社会の構築)

- 1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます
- 2 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます
- 3 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めます
- 4 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます

2 令和元年度の取組評価（まとめ）

令和元年度の各計画の取組評価は、次のとおりとなりました。

【 各計画の目標達成状況 】

(1) 基本計画の令和元年度環境指標として掲げられた44指標のうち、27指標を目標どおり実施しました。16指標は事業に着手しているものの目標値に届かず、1指標は達成できませんでした。

【本文：P6～8、資料編P30～33】

(2) 行動計画として設定した53項目のうち、37項目を目標どおり、4項目をほぼ目標どおり実施し、9項目が一部未実施又は一部未達成、3項目が未実施又は未達成となりました。

【本文：P9～11、資料編：P34～42】

(3) 区域編における、綾瀬市内からの二酸化炭素排出量（平成29年度）は、834千t-CO₂となり、目標排出量883千t-CO₂以下を達成しました。【本文：P12～20】

(4) 事務事業編における、市役所業務からの二酸化炭素排出量は、7,303t-CO₂となり、目標排出量7,367t-CO₂以下を達成しました。【本文：P21～26、資料編：P44～49】

(5) 教育計画の行動計画「あやせ環境教育推進基本計画アクションプラン（以下「アクションプラン」という。）」に設定した49項目のうち、46項目を目標どおり、2項目をほぼ目標どおり、1項目が一部未実施又は一部未達成となりました。また、市立小・中学校での36項目の行動についても実施できました。

【本文：P27～29、資料編：P50～56】

【 各計画の推進方針 】

- (1) 環境指標については、達成率の低かった環境の将来像Ⅲ（文化・都市環境の形成）及び環境の将来像Ⅳ（循環型社会の構築）の達成率向上を目指し、取り組めます。
- (2) 行動計画については、未実施又は未達成となった3項目について、達成できるよう取り組めます。
- (3) 区域編については、目標を達成しました。引き続き「環境保全対策補助事業」や「あやせエコっと21」などの事業に取り組めます。
- (4) 事務事業編については、目標を達成しました。引き続き、省エネルギー行動に取り組むとともに、本庁舎のLED照明化などの施設改修を検討します。
- (5) アクションプランについては、未実施又は未達成となった項目はありませんでした。引き続き、環境教育・環境学習を推進します。

綾瀬市環境報告書 令和元年度取組結果 未実施又は未達成事項一覧

各計画の未実施又は未達成事項は、4項目となりました。目標達成に向けた施策を進めていきます。

No.	目 標	結 果	今後の取組	ページ
第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標 (平成26～令和5年度)				
1	I 自然共生社会の構築 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます【動植物】 1-1 あやせ生物多様性行動指針の策定と推進： 27年度までに策定、その後指針に基づいて推進	未策定	※生物多様性行動指針は29年度に策定しないことと決定	30
第3期綾瀬市環境行動計画 (令和元～2年度)				
2	I 自然共生社会の構築 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます 10-4生垣推奨事業の推進：1人以上	R元 申請0件	引き続き、制度のPRを実施	35
3	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効活用を進めます 46-4 市役所の水道使用量の削減：2%削減	H25 3,984m ³ R元 6,220m ³ (66%増)	維持管理の点検等で水を使用する際に極力少量で清掃を行うなど工夫する	39
4	V 低炭素社会の構築 ② 太陽光など再生可能エネルギーの活用を進める 61-3 事業者用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援：助成1件以上	R元 申請0件	引き続き、制度のPRを実施	41

3 各計画の報告

第2次綾瀬市環境基本計画

(平成26年度～令和5年度)

令和元年度 環境指標結果

1 環境指標の概要

本指標は、第2次綾瀬市環境基本計画の基本目標ごとに定められており、令和5年度の目標達成に向けて進行管理を行うものです。

2 令和元年度環境指標の把握方法

市が実施した市民満足度調査や、各課に照会を行った内容をもとに把握しました。

3 令和元年度の環境指標結果

環境の将来像Ⅰ～Ⅵに掲げられた44指標のうち、27指標を目標どおり実施しました。16指標は事業に着手しているものの目標値に届かず、1指標は達成できませんでした。

各将来像の達成状況は次のとおりとなりました(資料編参照P30～)。

○：目標達成、△：着手したが目標値に届かなかった、×：未達成

◆**環境の将来像Ⅰ** 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち(自然共生社会の構築) 10指標：○6指標、△3指標、×1指標

○ 1-1「あやせ生物多様性行動指針の策定と推進」については、平成29年10月に開催した環境施策調整会議で、策定しないことを決定したため、未達成となっていますが、生物多様性に関する啓発等を実施することで、生物の多様性を育むための取組を進めます。

◆**環境の将来像Ⅱ** 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち（生活環境の保全・改善） 9 指標：○ 8 指標、△ 1 指標

○ 17-7「生活排水処理率」については目標値を達成できませんでした。その他の指標についてはすべて達成することができました。引き続き生活環境の保全・改善に向けた取組を進め、目標達成を目指します。

◆**環境の将来像Ⅲ** 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち（文化・都市環境の形成） 1 1 指標：○ 5 指標、△ 6 指標

○ 22-3「市民一人当たりの公園面積」、24-5「公共交通機関（バス）利用満足度」など 6 つの指標について、目標を達成できませんでした。公共交通機関に関する取り組みについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響などから利用者の増加は見込まれない状況です。

なお、28-9「まち美化マナー宣言登録者数」は、平成 2 8 年 5 月に新規登録の受付を終了しました。

◆**環境の将来像Ⅳ** ごみの減量化や 3 R が進められ、資源が大切に利用されるまち（循環型社会の構築） 5 指標：○ 1 指標、△ 4 指標

○ 32-2「事業系ごみの減量化（排出量）」、33-3「焼却処理されるごみ量」、34-4「市民1人1日あたりの家庭可燃ごみ量」及び35-5「リサイクル率」について目標値を達成できませんでした。循環型社会の構築を目指し、3 R などの普及啓発を行う必要があります。

◆**環境の将来像Ⅴ** 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち（低炭素社会の構築） 2 指標：○ 2 指標

○ 36-1「地球にやさしい生活を実践している市民の割合」及び37-2「補助金助成により設置された住宅用太陽光発電設備の出力」の 2 指標について目標を達成しました。引き続き低炭素社会の構築に向けて、省エネ・創エネを進めます。

◆**環境の将来像Ⅵ** 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち（協働社会の構築） 7指標：○5指標、△2指標

○ 41-4「あやせエコっと21家庭編（応募家庭数）」及び42-5「あやせエコっと21事業所（登録事業所）」について、目標を達成できませんでした。あやせエコっと21登録事業所については、1事業所が新たに登録しましたが、目標値には達しませんでした。引き続き事業所への訪問を継続し、案内を強化するとともに、市民や事業者などと協働し、地球環境保全の取組を進める必要があります。

4 今後の取組

「環境の将来像Ⅴ（低炭素社会の構築）」については、目標を達成することができましたが、そのほかの将来像については目標を達成できていない指標があります。

その中でも「環境の将来像Ⅳ（循環型社会の構築）」について、目標に達しない指標が多く評価が低いことから、講座やイベントなどを効果的に活用し、ごみの減量化やリサイクル率向上を目指して市民や事業者に対し、引き続き普及啓発を行っていく必要があります。

また、「環境の将来像Ⅲ（文化・都市環境の形成）」についても、取り組みは実施しているものの指標の半数以上が目標を達成できていません。人口減少や新型コロナウイルス感染拡大の影響で達成が難しい指標もありますが、現状にあわせて歴史・文化資源を活かした環境と共生するまちを形成していく必要があります。

第3期綾瀬市環境行動計画 令和元年度～令和2年度

あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを实践し、安全なまちづくりを進める
～あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして～

令和元年度 取組結果

1 令和元年度 環境行動計画の概要

本計画は、第2次綾瀬市環境基本計画の第3期行動計画として、基本目標ごとに定められており、令和2年度の目標達成に向けて進行管理を行うものです。

2 令和元年度の取組状況の把握方法

取組状況の把握は、行動計画として定めた項目について、「綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）」により所管課に照会し、取組実績を確認しました。

3 令和元年度の取組結果

環境の将来像Ⅰ～Ⅵに掲げられた行政が行う53項目のうち、37項目を目標どおり、4項目をほぼ目標どおり実施し、9項目が一部未実施又は一部未達成、3項目が未実施又は未達成となりました。

各将来像の達成状況は、次のとおりとなりました（資料編参照P34～）。

◎：目標どおり、○：ほぼ目標どおり、

△：一部未実施又は一部未達成、×：未実施又は未達成

- ◆環境の将来像Ⅰ 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち（自然共生社会の構築）14項目：◎9項目、○2項目、△2項目、×1項目
- 3-3「特定外来生物駆除の推進」、10-4「生垣推奨事業の推進」など3項目について、目標を達成することはできませんでした。生活被害や農業被害をもたらす特定外来生物（アライグマ）については、捕獲頭数が増加しているため、情報収集と駆除対策を行う必要があります。

◆**環境の将来像Ⅱ** 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち（生活環境の保全・改善）：行動内容を設定しないため、評価なし。

○ 大気や水質、騒音の監視状況について、担当課で進行管理を実施しています。

◆**環境の将来像Ⅲ** 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち（文化・都市環境の形成）7項目：◎6項目、△1項目

○ 28-2「コミュニティバスの利用増加」について、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、目標を達成できませんでした。これを踏まえ、行動内容を精査する必要があります。

◆**環境の将来像Ⅳ** ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち（循環型社会の構築）8項目：◎5項目、△3項目

○ 33-2「家庭系ごみの減量化」、40-2「ツカエルフェアの開催」など3項目について、目標を達成できませんでした。循環型社会の構築に向けて、啓発活動等を引き続き取り組む必要があります。

◆**環境の将来像Ⅴ** 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち（低炭素社会の構築）22項目：◎16項目、○2項目、△2項目、×2項目

○ 45-3「市役所の都市ガス使用量の削減」、46-4「市役所の水道使用量の削減」、61-3「事業者用太陽光発電設備設置補助金など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援」など4項目について、目標を達成できませんでした。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、目標を達成することが困難な項目は見直しが必要となっております。また、公共施設の省エネ策については、節電行動等では限界があることから、施設改修の検討を行う必要があります。

◆**環境の将来像Ⅵ** 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんな協働するまち（協働社会の構築）2項目：◎1項目、△1項目

○ 67-1「綾瀬市CSR経営表彰」については、目標を達成できませんでした。引き続き事業者等との協働を進めていきます。

4 今後の取組

「環境の将来像Ⅰ（自然共生社会の構築）」については、特に特定外来生物の情報収集や駆除対策を充実させる必要があります。

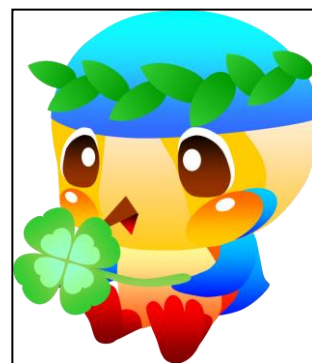
「環境の将来像Ⅱ（生活環境の保全・改善）」については、大気や水質等の継続的な現状調査や、騒音等の原因者への指導を実施していきます。

「環境の将来像Ⅲ（文化・都市環境の形成）」については、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえたうえで、コミュニティバスの利用促進を行う必要があります。

「環境の将来像Ⅳ（循環型社会の構築）」については、循環型社会の構築に向けて、啓発活動等を引き続き取り組む必要があります。

「環境の将来像Ⅴ（低炭素社会の構築）」については、二酸化炭素の排出抑制に向け、補助制度の周知を図るほか、公共施設の改修等を推進する必要があります。

「環境の将来像Ⅵ（協働社会の構築）」については、引き続き市民や事業者等との協働を進めていきます。



綾瀬市地球温暖化対策推進計画

(区域編)

- 平成27年度～令和5年度 -

**地球温暖化防止のために、
みんなで省エネや創エネを進めるまち**

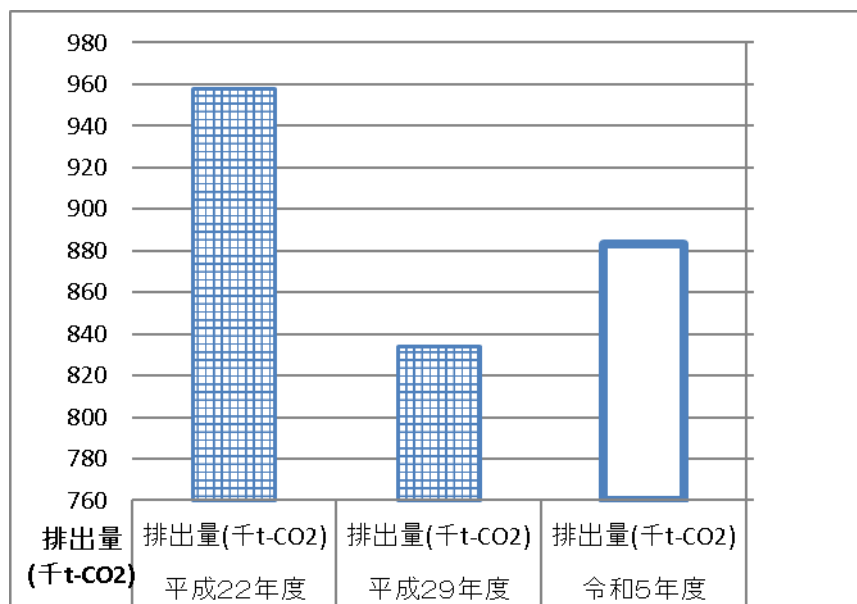
低炭素社会の構築を目指して

※綾瀬市域の二酸化炭素排出量削減計画

令和元年度までの取組結果

二酸化炭素排出状況

年度	平成22年度 (基準年度)	平成29年度	令和5年度 (目標年度)
	排出量(千t-CO ₂)	排出量(千t-CO ₂)	排出量(千t-CO ₂)
排出量	958	834	883
基準年度比 (%)	—	△ 12.9	△ 7.8



1 綾瀬市地球温暖化対策推進計画—平成27年度～令和5年度—の概要

本計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づき、平成27年3月に策定し、本市区域の自然的条件に応じた温室効果ガスの排出削減のための施策を定め、地球温暖化対策を推進するものです。

◇綾瀬市地球温暖化対策推進計画の概要は以下のとおりです。

○**計画の目的** 第2次綾瀬市環境基本計画に掲げる低炭素社会の構築に向けた環境の将来像「地球温暖化防止のために、みんなで省エネ創エネを進めるまち」の実現を図る。

○**基準年度** 平成22年度

○**計画期間** 平成27年度～令和5年度

○**計画の位置づけ** 環境行政の方向性を定めた第2次綾瀬市環境基本計画（平成26年度～令和5年度）の分野別計画として、市民・事業者・市が一体となって取り組み、市域全体で施策を推進します。

○**対象温室効果ガス** 地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第3項に基づく、二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの(HFC)（パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの(PFC)、六ふっ化硫黄(SF₆)、三ふっ化窒素(NF₃)は、対象外とする。)

(地球温暖化対策の推進に関する法律(平成28年5月改正))

○**基準年度**（平成22年度）の二酸化炭素排出量 95万8千t

○**削減目標** 二酸化炭素排出量を令和5年度までに7万5千t（約8%）削減
（令和5年度二酸化炭素排出量目標：88万3千t）

2 温室効果ガス排出量の算出方法

本市区域の排出量は、環境省手引書に沿って国や県のデータから推計する簡易的な按分手法を用いて算出しています。データの制約上2年程度さかのぼって算出することとなるため、令和元年度取組結果のデータは、平成29年度排出量となります。

3 平成29年度の二酸化炭素の排出状況

本計画では、令和5（2023）年度の削減目標として、基準年度（平成22（2010）年）をベースに、二酸化炭素排出量を約7万5千トン（約△8%）削減し、88万3千トン以下にすることを目指しています。

本市区域の平成29年度の二酸化炭素排出量の推計結果は83万4千t-CO2となり、基準年度（平成22年度）と比較すると、約12万4千t-CO2、12.9%の減少となりました。

温室効果ガス排出量

(単位:千t-CO2)

温室効果ガス種・部門など			基準年度 平成22年度 (2010年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	基準年比	
									増減量	増減率
二酸化炭素	エネルギー起源 (間接排出量)	産業部門								
		製造業	623	662	659	646	515	514	-109	-17.5%
		建設業・鉱業	10	9	8	9	8	8	-2	-20.0%
		農林水産業	2	2	1	1	1	1	-1	-50.0%
		小計	636	673	668	656	524	523	-112	-17.8%
		家庭部門	98	125	114	97	103	93	-5	-5.1%
		業務部門	93	121	130	124	111	95	2	2.2%
		運輸部門	121	123	121	118	117	117	-4	-3.3%
		小計	948	1042	1033	995	855	828	-120	-12.7%
		非エネルギー起源(廃プラも焼却)	10	6	6	6	6	6	-4	-40.0%
二酸化炭素(CO2)排出量計			958	1,048	1,039	1,001	861	834	-124	-12.9%
その他のガス(CH4、N2O、HFC)計			4	4	4	5	5	5	1	25.0%
温室効果ガス計			962	1,052	1,043	1,006	866	839	-123	-12.8%
人口(人)			83,167	83,828	83,990	84,460	84,427	84,139	972	1.2%
1人当たり二酸化炭素排出量(t-CO2/人)			11.5	12.5	12.4	11.9	10.2	9.9	-	-
1人当たり温室効果ガス排出量(t-CO2/人)			11.6	12.5	12.4	11.9	10.3	10.0	-	-

※数値は四捨五入して千t-CO2としていますので、合計が合わないことがあります。

また、国全体での平成29年度の二酸化炭素排出量について、環境省では次のように考察しています。

- ・前年度からの減少要因としては、太陽光発電・風力発電等の再生可能エネルギーの導入拡大や原子力発電所の再稼働等によるエネルギーの国内供給量に占める非化石燃料の割合の増加等のため、エネルギー起源のCO2排出量が減少したこと等が挙げられます。¹

4 部門別の二酸化炭素の排出状況

本市域の二酸化炭素排出量の構成比は、産業部門62.7%、家庭部門11.2%、業務部門11.4%、運輸部門1.4%、廃棄物部門0.7%となりました。

基準年と比較すると、産業部門、家庭部門、運輸部門、廃棄物部門の排出量は減少していますが、業務部門(+2.2%)の排出量は増加しています。

¹ 「2017年度（平成29年度）の温室効果ガス排出量（確報値）について」環境省HPより抜粋

部門別二酸化炭素排出量の変動

(単位:千t-CO2)

部門	基準年度 平成22年度 (2010年)		平成25年度 (2013年)		平成26年度 (2014年)		平成27年度 (2015年)		平成28年度 (2016年)		平成29年度 (2017年)		基準年比		目標年度 平成35年度 (2023年)	
	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	増減率	排出量	構成比
産業部門	636	66.4%	673	64.2%	668	64.3%	656	65.5%	524	62.8%	523	62.7%	-113	-17.8%	611	69.2%
家庭部門	98	10.2%	125	11.9%	114	11.0%	97	9.7%	103	12.4%	93	11.2%	-5	-5.1%	76	8.6%
業務部門	93	9.7%	121	11.5%	130	12.5%	124	12.4%	111	13.3%	95	11.4%	2	2.2%	89	10.1%
運輸部門	121	12.6%	123	11.7%	121	11.6%	118	11.8%	117	14.0%	117	14.0%	-4	-3.3%	99	11.2%
廃棄物部門	10	1.0%	6	0.6%	6	0.6%	6	0.6%	6	0.7%	6	0.7%	-4	-40.0%	8	0.9%
合計	958	100.0%	1,048	100.0%	1,039	100.0%	1,001	100.0%	861	103.2%	834	100.0%	-124	-12.9%	883	100.0%

●産業部門

工業統計に基づく製造品出荷額が、3,869億円(平成22年度)から3,702億円(平成29年度)と4.3%減少していることから、生産活動の減などが、二酸化炭素排出量減少の要因と考えられます。

●家庭部門

家電製品の省エネルギー化などから、二酸化炭素排出量が減少したと考えられます。

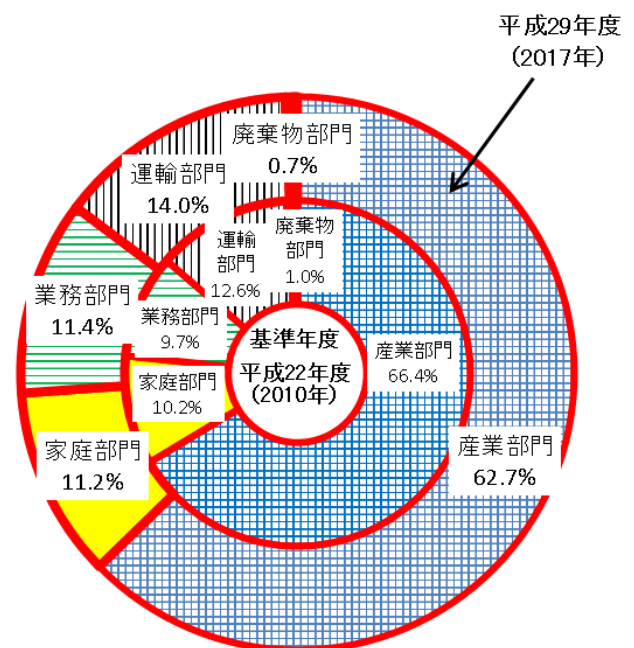
●業務部門

A重油(主にボイラーなどで使用される燃料)や灯油の消費量は減少していますが、都市ガス及び電力の消費量が増加しています。

●運輸部門

自動車の環境性能の向上などにより二酸化炭素排出量は減少しました。

部門別二酸化炭素排出量の変動



5 本市の取組状況

市では、市域からの二酸化炭素排出量を削減するため、平成17年度から環境保全対策補助事業を、平成18年度からあやせエコっと21を実施し、この2事業を中心に第2次綾瀬市環境基本計画を基に各種啓発事業に取り組んでいます。（啓発事業の取組結果については、「環境行動計画」及び「環境教育推進基本計画（アクションプラン）」参照）

環境保全対策補助事業については、本計画では、太陽光発電設備設置事業補助（再生可能エネルギーの導入）における二酸化炭素排出削減量を令和5年度2,980t-CO2に設定しています。令和元年度の削減量は、2,835t-CO2となり、計画目標達成率は95.1%となるとともに、令和元年度の目標2,322t-CO2に対し、達成率は122.1%となりました。

再生可能エネルギーの導入	対象	対象数		設定	削減見込量
(1) 市の太陽光発電設備設置等補助事業	現在の補助を継続	全対象数	計画での予定対象数	導入率 (%)	(t-CO2/年)
1) 住宅用太陽光発電設備設置補助	住宅	H23→H35年度までの予定対象数	1,900 軒	100 %	2,770
2) 共同住宅用太陽光発電設備設置補助	共同住宅	H23→H35年度までの予定対象数	30 軒	100 %	50
3) 事業所用太陽光発電設備設置補助	事業所	H23→H35年度までの予定対象数	30 件	100 %	160
					2,980

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
CO2 削減量 (kg-CO2)	削減目標	個人	1,331,666	1,606,176	1,752,192	1,898,208	2,044,224	2,190,240	2,336,256	2,482,272	2,628,288	2,770,000
		共同	7,301	10,951	16,427	21,902	27,378	32,854	38,329	43,805	49,280	50,000
		事業所	43,805	32,854	49,280	65,707	82,134	98,561	114,988	131,414	147,841	160,000
		計	1,382,772	1,649,981	1,817,899	1,985,818	2,153,736	2,321,654	2,489,573	2,657,491	2,825,410	2,980,000
	削減実績	個人	1,221,486	1,904,234	2,079,205	2,139,362	2,220,934	2,282,955				
		共同	8,016.28	15,766	18,640	18,118	17,708	22,122				
		事業所	39,734.60	54,969	532,145	541,997	537,482	529,561				
計	1,269,237	1,974,969	2,629,990	2,699,477	2,776,123	2,834,639	0	0	0	0		
達成率	91.8%	119.7%	144.7%	135.9%	128.9%	122.1%						
5年度:目標達成率	42.6%	66.3%	88.3%	90.6%	93.2%	95.1%						

この2事業の取組により平成29年度では、2,703.6t-CO2の二酸化炭素の削減効果がありました（環境保全対策補助事業：住宅用太陽光発電・共同住宅用太陽光発電、事業所用太陽光発電：2,699.4t-CO2。あやせエコっと21家庭編：節電・節水、レジ袋削減、家電製品買替え：4.2t-CO2）。

全環境保全対策補助事業及びあやせエコっと21家庭編により、令和元年度では、3,311.8t-CO2の二酸化炭素の削減効果があり、50年杉236,557本/年の植林効果（1本約14kg/年：関東森林管理局）に匹敵します。

また、人で試算すると1,619人分(2016年度:約2,045kg-CO₂/年:全国地球温暖化防止活動センター)の二酸化炭素排出量となります。

なお、令和元年度の取組結果は次のとおりとなりました。

○ 二酸化炭素排出量の算定

二酸化炭素排出量の算定は、環境省が平成29年3月に策定した「地方公共団体実行計画(区域施策編)策定・実施マニュアル」に基づき行う。(東京電力エナジーパートナー(株)排出係数:0.468kg-CO₂/kWh)

※令和2年8月1日現在で把握できる最新の排出係数を使用することとします。

※平成25年の排出係数で算定する方法から変更。

- (1) **環境保全対策補助事業**: 太陽光発電設備の導入など地球温暖化対策に有効な機器の導入に対し、一部経費を助成することによって普及促進を図っています。この取組により、令和元年度では3,306.9t-CO₂の二酸化炭素を削減することができました。

○太陽光発電設備設置補助金(個人住宅・共同住宅・事業所用)

平成17年度から開始した個人住宅用補助は、令和元年度までに1,244件で4,878.11kW、平成25年度から開始した共同住宅用が7件で47.27kW及び事業所用が15件で1,131.54kW、合計6,056.92kWとなりました。年間では、6,056.92MWh(6,056.92kW×1,000kWh/年)の電力を生むことになり、2,834.6t-CO₂(6,056.92kW×1,000kWh×0.468(東京電力エナジーパートナー(株)排出係数:0.468kg-CO₂/kWh))の二酸化炭素が削減できました。

○家庭用燃料電池(エネファーム)設置補助金(平成25年度から実施)

平成25年度から開始し、令和元年度までの累計は188台となり、250.0t-CO₂[188台×1,330kg-CO₂(1台当たりの年間削減量)]の二酸化炭素が削減できました。

○電気自動車導入補助金(平成23年度から実施)

平成23年度から開始し、令和元年度までの累計は116台となり、1kWh(1ℓ)当たり10km、年平均10,000km走行すると想定した場合、年間、

約 222.3 t-CO₂ [(116 台×10,000km÷10km/ℓ×2.32 (ガソリン排出係数))
 - (100 台×10,000km÷10km/kWh×0.468 (東京電力エナジーパートナー(株)排出
 係数:0.468kg-CO₂/kWh))] の二酸化炭素が削減できました。

○雨水貯留槽設置補助金 (平成17年度から平成28年度まで実施)

平成17年度から開始し、平成28年度までの累計は117基となり、18,039ℓの節水効果となりました (平成28年度で制度終了)。

☆ 住宅用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kWh)
17~26	912	3,346.17
27	98	424.59
28	83	387.65
29	57	243.57
30	54	273.67
元	40	202.46
合計	1,244	4,878.11

☆ 家庭用燃料電池設置状況

年度	台数
25	19
26	20
27	23
28	26
29	51
30	29
元	20
合計	188

☆ 共同住宅用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kWh)
24~26	4	21.96
27	1	9.26
28	1	6.06
29	0	0.00
30	0	0.00
元	1	9.99
合計	7	47.27

☆ 電気自動車導入状況

年度	台数
23~25	40
26	8
27	13
28	12
29	15
30	12
元	16
合計	116

☆ 事業所用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kWh)
24~26	8	108.85
27	0	0.00
28	5	998.10
29	1	8.27
30	1	16.32
元	0	0.00
合計	15	1,131.54

☆ 雨水貯留槽設置状況

年度	件数 (件)	容量 (ℓ)
17~26	107	16,154
27	5	1,100
28	5	785
平成28年度で補助制度終了		
合計	117	18,039

(2) あやせエコっと21(家庭編)キャンペーン:家庭での節電や節水など、環境に配慮した行動や取組を進めていくため、平成25年度から始まった市独自の普及・啓発活動です。前年同月比等で二酸化炭素排出量を抑制した場合に応募でき、抽選で旅行券やあやせ名産品などの賞品が当たるキャンペーンで、平成26年度からは、あやせ環境ネットワークと協働で実施しています。

令和元年度は、この取組(節電・レジ袋削減・家電製品買換え・再配達防止)により、合計で約4.9 t-CO₂の二酸化炭素排出量の抑制ができました。

○節電コース: ◇応募件数

期間中の使用量が昨年同期より削減できた場合に応募できま	年度	26	27	28	29	30	元
す。	件数	497	280	248	214	120	187

二酸化炭素削減量:令和元年度は、187件、7,195 kWhの削減。これに、電気の二酸化炭素係数0.468(東京電力エナジーパートナー(株)排出係数:0.468kg-CO₂/kWh)を乗じて、節電で約3.4 t-CO₂の二酸化炭素を削減することができました(推計)。

※節水コースは平成28年度を最後に廃止。

○レジ袋削減コース: ◇応募件数

市内レジ袋削減推進登録店等でマイバッグを持参して、1,000	年度	26	27	28	29	30	元
円以上買い物をした20,000円分(27年度までは15,000円)のレシートにより応募できます。	件数	307	402	366	446	475	494

令和元年度は、応募口数494口、レシート枚数3,608枚でした。レシート1枚につきレジ袋1枚を削減したとすると、約216 kg-CO₂の二酸化炭素が削減できました。(レジ袋LLサイズ、1枚あたり60 g-CO₂を排出として計算)(推計)

○家電製品買換えコース: ◇応募件数

エアコン、冷蔵庫、テレビを消費電力が減少するもの	年度	27	28	29	30	元
に買い換えた場合に購入店に応じた口数の応募ができます。	件数	12	74	15	10	13

環境省の「しんきゅうさん:省エネ製品買換えナビゲーション」に基づく、二酸化炭素削減量は、約1.3 t-CO₂となりました(推計)。

○再配達防止コース：

◇応募件数

時間指定・受取場所指定等を実施した場合に応募できます。
再配達1回あたり0.46kg-CO₂を排出したとすると、約22kg-CO₂の二酸化炭素が削減できました（推計）

年度	元
件数	47

(3) あやせエコっと21（学童編）：市内在住の小学5年生を対象に、夏休み期間中の10日間、省エネ行動を実践することで省エネ意識の向上を図りました。参加児童数196人。

(4) あやせエコっと21（事業所編）：43項目の環境配慮行動から2項目以上に取り組んだ事業所を「環境に配慮する事業所」として登録し、市HPで紹介することにより事業者の環境配慮行動を促しました。

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	合計
新規登録	1	8	14	1	3	0	5	5	10	0	0	2	1	1	51
51（累計登録件数）－3（辞退件数）＝48（令和元年度末件数）															

6 今後の取組

第2次綾瀬市環境基本計画に基づく「環境行動計画」により、低炭素社会の構築に向けた取組を推進しており、二酸化炭素排出量について基準年度（平成22年度）と比較し、産業部門、家庭部門、運輸部門、廃棄物部門が減少し、市役所や学校、病院、事務所等の業務部門が増加しました。業務部門の対策としては次のような方法が考えられます。

(1) エネルギー消費量を削減すること

ア 使い方による削減

こまめな消灯や照明の間引き点灯、空調設備の適切な温度調整や室外機の清掃等

イ 買換えによる削減

蛍光灯をLED照明へ、老朽化した空調設備を高効率な設備への買換え等

(2) エネルギーを作り出すこと

ア 太陽光発電設備や燃料電池の設置等

第2次

綾瀬市地球温暖化対策実行計画

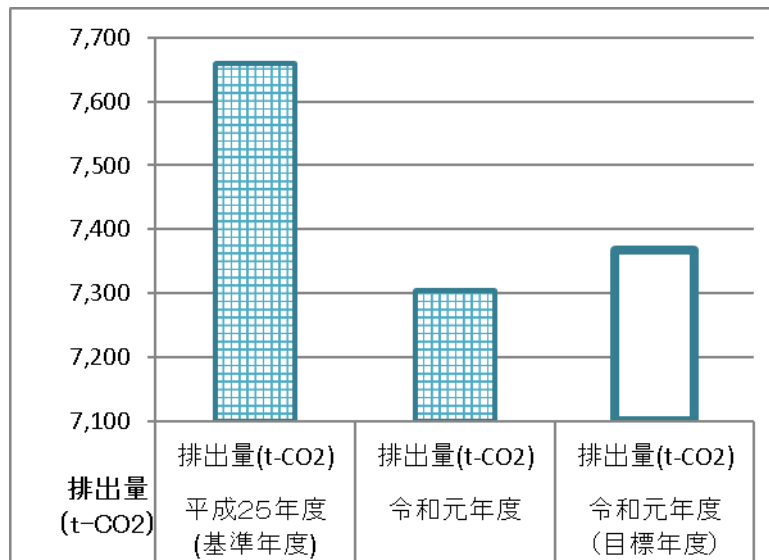
(事務事業編)

取組結果(令和元年度実績)

※市公共施設の二酸化炭素排出量削減計画

二酸化炭素排出状況

年度	平成25年度 (基準年度)	令和元年度	令和元年度 (目標年度)
	排出量(t-CO2)	排出量(t-CO2)	排出量(t-CO2)
排出量	7,659	7,303	7,367
基準年度比 (%)	—	△ 4.6	△ 3.8



1 第2次（平成27年度～令和元年度）実行計画（事務事業編）の概要

本実行計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成28年5月改正）に基づき、第1次実行計画（平成22年度～26年度）を受け、第2次実行計画として平成27年3月に策定し、綾瀬市役所の全ての事務事業から排出される温室効果ガスの削減に向けた各種取組を推進するものです。

◇第2次実行計画（事務事業編）の概要は以下のとおりです。

- 計画の目的 温室効果ガスの排出量の削減目標の実現に向け各種取組を行い、地球温暖化対策の推進を図る。
- 基準年度 平成25年度
- 計画期間 平成27年度～令和元年度
- 目標年度 令和元年度
- 計画の位置づけ 綾瀬市環境基本条例の基本理念を基に、「第2次綾瀬市環境基本計画」に掲げられた重点施策を踏まえるとともに、綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）の環境配慮プログラムの取組のうち、特に温室効果ガスの排出削減を推進する取組やその推進体制を生かしながら進める。
- 対象事務事業 市長部局、消防、議会事務局、監査事務局、選挙管理委員会事務局、農業委員会事務局、教育委員会で行う全ての事務事業
- 対象温室効果ガス 二酸化炭素〔他の温室効果ガス（メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素）は、対象外とする。〕
- 基準年度 平成25年度の二酸化炭素排出量 7,659 t
- 削減目標 二酸化炭素排出量を令和元年度までに、平成25年度比△3.8%

【温室効果ガス（二酸化炭素排出量）の削減目標】

	平成25年度 (2013年度)	令和元年度 (2019年度)	
	実績・基準値	目標値	削減目標
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	7,659	7,367	292
平成25年度比(%)	—	96.2	3.8

○ 温室効果ガス排出量の算定

温室効果ガス総排出量の算定は、環境省が平成29年3月に発行した「温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン」に基づき行う。※平成25年の排出係数で算定する方法から変更。

2 令和元年度の取組状況の把握方法

綾瀬市役所の本庁舎及び市が管理する公共施設で行う事務事業を対象としていることから、取組状況の把握は「綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）」により、施設管理主管課を通じて、電気、ガス、灯油などのエネルギーの使用量を集計し、二酸化炭素排出量を推計しました。

3 令和元年度の二酸化炭素の排出状況

本計画の削減目標は、令和元年度までに、平成25年度比3.8%削減としていますが、令和元年度の事務事業から排出された二酸化炭素の総量は、7,303 t-CO₂となり、基準年度（平成25年度）と比較すると、356 t-CO₂減少（4.6%減少）という結果になりました。

平成25年度（基準年度）の二酸化炭素排出量	: 7,659 t
令和元年度の二酸化炭素排出量	: 7,303 t
基準年度に対する増減率	: △4.6%

【二酸化炭素の活動項目別排出状況】

活動項目		令和元年度（2019年度）				
		使用量	単位	排出係数	排出量	単位
電気の使用	東京電力(株)など	12,337,654	kWh	0.234~0.508	5,743,732	kg-CO ₂
燃料の使用	ガソリン	62,428	L	2.32	144,832	
	灯油	75,974		2.49	189,175	
	軽油	63,765		2.58	164,514	
	A重油	200		2.71	542	
	液化石油ガス（LPG）	3,349	m ³	3.00	10,046	
	都市ガス（13A）	470,488		2.23	1,049,188	
	天然ガス（CNG）	584		2.22	1,296	
合 計					7,303,325	

※単位未満四捨五入のため、合計と内訳が一致しない場合があります。

※ガソリン、軽油、LPGは施設と公用車の排出量の合計となります。

※電気の排出係数は、電気事業者により異なります。

※参考資料 P46～49

4 活動項目別の二酸化炭素排出状況の比較

基準年度（平成25年度）と、令和元年度の燃料等の使用量及び二酸化炭素排出量を比較すると、下表のとおりとなりました。（資料編参照P44～）

【燃料等種類別二酸化炭素排出状況の比較】

活動項目	燃料等の使用量			二酸化炭素排出量(kg-CO2)				種類別割合 令和元年度		
	単位	基準年度 平成25年度	令和元年度	基準年度(平成25年度)		令和元年度			対基準年 度増減率	
				排出係数	排出量	排出係数	排出量			
電気の使用	東京電力(株)	kWh	6,532,590	-	0.531	3,468,805	-	-	4.3%	78.6%
	東京電力エナジー パートナー(株)		-	3,593,985	-	-	0.468	1,681,985		
	昭和シェル石油(株)		1,427,493	-	0.377	538,165	-	-		
	(株)エネット		3,547,870	-	0.423	1,500,749	-	-		
	(株)F-Power		-	3,625,576	0.491	-	0.508	1,841,793		
	リエスパワー(株)		-	507,444	0.503	-	0.503	255,244		
	ミツコクグリーンエネルギー(株)		-	25,707	0.375	-	0.309	7,943		
	イーレックス(株)		-	1,121,046	0.500	-	0.416	466,355		
	丸紅新電力(株)		-	3,268,555	0.389	-	0.442	1,444,701		
	みんな電力(株)		-	195,341	-	-	0.234	45,710		
小計	11,507,953	12,337,654	-	5,507,719	-	5,743,732				
燃料の使用	ガソリン	L	65,788	62,428	2.32	152,627	2.32	144,832	-5.1%	2.0%
	灯油		235,061	75,974	2.49	585,302	2.49	189,175	-67.7%	2.6%
	軽油		68,630	63,765	2.58	177,066	2.58	164,514	-7.1%	2.3%
	A重油		146,200	200	2.71	396,202	2.71	542	-99.9%	0.0%
	液化石油ガス(LPG)	m3	5,837	3,349	3.00	17,511	3.00	10,046	-42.6%	0.1%
	都市ガス(13A)		352,288	470,488	2.23	785,602	2.23	1,049,188	33.6%	14.4%
	天然ガス(CNG)		900	584	2.22	1,998	2.22	1,296	-35.1%	0.0%
	小計	-	-	-	-	2,116,308	-	1,559,594	-26.3%	21.4%
合計	-	-	-	-	7,624,027	-	7,303,325	-4.2%	100.0%	

※単位未満四捨五入のため、合計や内訳が一致しない場合があります。

※対基準年度増減率=(令和元年度CO2排出量-基準年度CO2排出量)÷基準年度CO2排出量×100

※種類別割合=各燃料の令和元年度CO2排出量÷令和元年度CO2総排出量×100

電気の使用による二酸化炭素排出量は基準年度比4.3%増加しましたが、学校の空調設備を燃料から電気に変更したことなどが考えられます。

一方、燃料の使用による二酸化炭素排出量は、基準年度比26.3%減少させることができました。燃料の種類別に比較すると、学校の空調設備のほか、学校給食センター設備のエネルギー源転換などにより、基準年度比で排出量をA重油は99.9%、液化石油ガス(LPG)は42.6%、灯油は67.7%、それぞれ減少させることができました。

また、前述の学校給食センター設備のエネルギー源転換などに伴い、都市ガスの排出量が33.6%増加してしまいましたが、A重油からの転換により、二酸化炭素係数が低いエネルギー源にすることができました。さらに、天然ガス(CNG)の排出量について、リサイクルプラザの車両からになります。平成29年度に1台を廃車としたほか、車の使用頻度の減により、35.1%減少しました。

5 削減目標の取組結果

本実行計画で掲げた削減目標に対する達成削減率は、次のとおりです。

【 削減目標 ⇒ 達成削減率 】 [P 4 4、P 4 5 削減計画内訳達成度 参照]

(1) 市施設の節電行動による $\Delta 41,449\text{kg-CO}_2$ (電気)、削減率 2.0% ⇒ あやせ EMSによる進行管理：542,124kg-CO₂ 増加、増加率 26.2% (A)

(2) 本庁舎冷暖房施設機器の更新による $\Delta 104,171\text{kg-CO}_2$ (都市ガス)、削減率 40.0% ⇒ 平成 27 年度に冷暖房施設機器更新済み。令和元年度：67,317kg-CO₂ 削減、削減率 25.8% (B)

(3) 本庁舎の LED 照明化 (3,000 本) による $\Delta 101,776\text{kg-CO}_2$ (電気)、削減率 20.9% ⇒ 令和元年度までに取組なし。

(4) 道路照明灯 50 基の LED 照明化による $\Delta 19,466\text{kg-CO}_2$ (電気)、削減率 3.0% ⇒ 令和元年度までに道路照明灯 131 基を LED 照明化。令和元年度：132,047 kg-CO₂ 削減、削減率 20.1% (C)

(5) 学校給食センターの設備更新による $\Delta 113,591\text{kg-CO}_2$ (A 重油・LP ガス→都市ガス)、削減率 28.3% ⇒ 平成 27 年度に設備更新済み。令和元年度：95,182 kg-CO₂ 削減、削減率 23.7% (D)

(6) 削減目標：塵芥車 1 台のハイブリッド塵芥車更新による $\Delta 2,915\text{kg-CO}_2$ (軽油)、削減率 2.34% ⇒ 平成 29 年度にトラック 1 台をハイブリッドに更新：9,840kg-CO₂ (軽油) 削減、削減率 7.89% (E)

合計 237,738 kg-CO₂ の増加：目標達成率 $\Delta 62\%$ (目標 383,368 kg-CO₂ 削減)

令和元年度は、削減項目として挙げた目標について、達成することができませんでした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で公共施設（文化センター、学校等）が休館等になったこと、道路照明灯の LED 化が図られていること、東京電力エナジーパートナー（株）等契約している電気事業者の排出係数が減少したことなどにより、全体としては二酸化炭素排出削減目標を達成しました。

6 今後の取組

令和元年度において、二酸化炭素排出量平成25年度（基準年度）比3.8%削減の目標を上回る4.6%の削減を達成しました。

第二次地球温暖化対策実行計画の計画期間は終了となりますが、今後も第三次地球温暖化対策実行計画に基づき、照明のLED化などの高効率照明への転換や省エネルギー設備の導入、太陽光発電設備などの新エネルギーを利用した設備の導入を進めるとともに、市民サービスを低下させることなく、節電などの省エネルギー行動を継続していく必要があります。

※平成25年度（基準年度）の二酸化炭素排出量の算出について

①次のとおり、東京電力(株)の排出係数が修正されました。（環境省）

【東京電力(株)平成25年度排出係数】

（修正前）0.53

（修正後）0.531

②次のとおり、誤りがありました。

【リサイクルプラザのLPガス排出量】

（誤）13,964.89m³

（正）13,964.89ℓ ⇒ 13,964.89m³ = 約14m³

【学校給食センター契約の電力事業者】

（誤）(株)エネット：排出係数 0.423

（正）東京電力(株)：排出係数 0.531

これをもとに基準年度排出量を算出し、3.8%の削減目標を設定すると、目標達成状況は次のとおりとなります。（目標値は変更しません。）

	年度	平成25年度 (基準年度)	令和元年度	令和元年度 (目標年度)
		排出量(t-CO2)	排出量(t-CO2)	排出量(t-CO2)
誤	排出量	7,659	7,303	7,367
	基準年度比 (%)	—	△ 4.6	△ 3.8
正	排出量	7,624	7,303	7,334
	基準年度比 (%)	—	△ 4.2	△ 3.8

あやせ環境教育推進基本計画

—平成27年度～令和5年度—

令和元年度 取組結果

1 あやせ環境教育推進基本計画—平成27年度～令和5年度—の概要

市では、「環境基本計画」の環境の将来像VI「環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち」の中の基本目標の一つに「環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます」と定めており、あらゆる機会を活用して、子どもから大人までを対象とした環境教育・環境学習を進めることとしています。

本計画は、「環境基本計画」を受け、「環境教育等による環境保全の取組の推進に関する法律」第8条に基づき、平成27年3月に策定し、環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めるために、各種取組を推進するものです。

◇ あやせ環境教育推進基本計画の概要は以下のとおりです。

- **計画の位置づけ** 「綾瀬市環境基本条例」第13条に基づき、環境教育及び学習の振興並びに啓発活動の充実を図るとともに、「第2次綾瀬市環境基本計画」に掲げる、環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めるための計画とします。
- **対象期間** 平成27年度～令和5年度

2 令和元年度の取組状況の把握方法

取組状況の把握は、**行動計画(アクションプラン)**として定めた49項目について、「綾瀬市環境マネジメントシステム(あやせEMS)」により所管課に照会し、取組実績を確認しました。

3 令和元年度の取組結果

アクションプラン49項目のうち46項目を目標どおり実行しました。(資料編参照P50～56)

◎：目標どおり、○：ほぼ目標どおり、

△：一部未実施又は一部未達成、×：未実施又は未達成

◆(1) 人材の育成と活用 4項目：◎4項目

○ すべての項目を達成することができました。引き続き、人材の育成と活用を推進します。

◆(2) プログラム等の整備と活用 6項目：◎6項目

○ すべての項目を達成することができました。引き続き、プログラム等の整備と活用を推進します。

◆(3) 参加の場や機会づくり 37項目：◎34項目、○2項目、△1項目

○ 42「エコっと21事業所編の参加促進60社以上」の実績は48社、45「カフェセミナーの発行1回」の実績は代替措置として市広報紙での周知となり、2項目について○：ほぼ目標どおりとなりました。

また、28「河川等水辺の美化活動の実施50人以上」の実績は26人となり、1項目について△：一部未達成となりました。

◆(4) 情報提供と相談体制の整備 2項目：◎2項目

○ すべての項目を達成することができました。引き続き情報提供と相談体制の整備を推進します。

4 今後の取組

令和元年度は、アクションプラン49項目中1項目(河川等水辺の美化活動の実施)を「一部未達成」としましたが、その他の目標については、「目標どおり」若しくは「ほぼ目標どおり」となりました。引き続き、環境教育・環境学習により、あやせの環境を育む地域の人づくりを推進します。

また、市立小・中学校における行動計画についても、引き続き、推進する必要があります。

さらに、「綾瀬市環境学習プログラム集」の内容を定期的に更新し、情報提供することで、環境保全の取組へのきっかけづくりを推進する必要があります。



**あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを实践し、安全なまちづくりを進める
～あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして～
令和元年度 環境指標結果**

環境の将来像Ⅰ	10指標	○	6指標
		△	3指標
		×	1指標

※ 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち(自然共生社会の構築)

基本目標 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます【動植物】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価
1	1	あやせ生物多様性行動指針の 策定と推進	平成27年度まで に策定 その後指針に基 づいて推進	推進	未策定 (平成29年度の環境 施策調整会議におい て策定しないと決定)	×
2	2	長峰の森等生物生育・生息地の 指定	2箇所(R2)以上	調整	調整	○
3	3	生物多様性行動戦略に関する調 査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	○

基本目標 ② 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします【市民】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価
4	4	緑被率	33.7%(R2) を維持	33.7% を維持	37.11%(H27)	○
5	5	緑地の確保	434.3ha(R2) 以上	413.4ha 以上	398.6ha	△

基本目標 ③ カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります【市民】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価
6	6	湧水の整備箇所	1箇所	1箇所	調整	△
7	7	水辺環境の整備への満足度	50%(R2)以上	48%以上	55.0%	○

基本目標 ④ 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます【農地】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価
8	8	農用地面積	132ha(R2) の維持	146ha の維持	148ha	○
9	9	市内農業体験農園利用者数	300人(R2) 以上	300人 以上	319人	○
10	10	食育に関心のある人の割合	70%以上	90%以上	63.5%(H30)	△

環境の将来像Ⅱ	9指標	○	8指標
		△	1指標
		×	0指標

※ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち(生活環境の保全・改善)

基本目標 ① 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします【大気】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価	
11	1	大気の汚染に係る環境基準	環境基準の達成 維持及び改善	光化学オキシダントを除く各項目とも環境基準値以内	調査実施	○
12	2	有害大気汚染物質に係る環境基準	環境基準の達成 維持及び改善	各項目とも環境基準値以内	調査実施	○
13	3	ダイオキシン類に係る環境基準	環境基準の達成 維持及び改善	各項目とも環境基準値以内	調査実施	○

基本目標 ② さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります【河川】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価	
14	4	河川水質の環境基準 (生活環境項目)	環境基準の達成 維持及び改善	各項目とも概ね環境基準値以内	調査実施	○
15	5	地下水の水質汚濁に係る環境基準	環境基準の達成 維持及び改善	各項目とも環境基準値以内	調査実施	○
16	6	ダイオキシン類に係る環境基準	環境基準の達成 維持及び改善	各項目とも環境基準値以内	調査実施	○
17	7	生活排水処理率	98.6%(R3) 以上	98.5%	96.8%	△

基本目標 ③ 航空機騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住み良いまちにします【騒音】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価	
18	8	航空機騒音に係る環境基準	環境基準の達成	環境基準値以内	調査実施	○
19	9	騒音に係る環境基準	環境基準の達成 維持及び改善	環境基準値以内	調査実施	○

環境の将来像Ⅲ	11指標	○	5指標
		△	6指標
		×	0指標

※歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち(文化・都市環境の形成)

基本目標 ① 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます【文化財】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価	
20	1	市内指定文化財件数	15件(R2)以上	14件以上	15件	○
21	2	文化財保護啓発事業の開催数	5事業	5事業	9事業	○

基本目標 ② 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくります【景観】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価	
22	3	市民一人当たりの公園面積	8.1㎡(R2)以上	7.04㎡以上	6.70㎡	△
23	4	市内の緑と公園に満足している市民の割合	52%(R2)以上	49%以上	56.6%	○

基本目標 ③ 人と環境にやさしい交通体系を整備します【交通】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価
24	5	公共交通機関(バス) 利用満足度	50%(R2)以上	48%以上	46.5% (H30)	△
25	6	路線バス利用者数	12,700千人(R2) 以上	12,500千人 以上	11,337千人 (H30)	△

基本目標 ④ オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます【防災】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価
26	7	緑地の確保【基本目標 I -2】	434.3ha(R2) 以上	413.4ha以上	398.6ha	△
27	8	農用地面積【基本目標 I -4】	132ha(R2) の維持	146ha の維持	148ha	○

基本目標 ⑤ ごみが散乱しないきれいなまちにします【不法投棄】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価
28	9	まち美化マナー宣言登録者数	累計2,000人(R2) 以上	1,950人 以上	1,153人	△
29	10	環境衛生対策の満足度	80%(R2)以上	60%以上	63.6%	○
30	11	ポイ捨て等投棄防止パトロール 用ビブスの貸与	累計7件	累計3件	累計2件	△

環境の将来像Ⅳ	5指標	○	1指標
		△	4指標
		×	0指標

ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち(循環型社会の構築)

基本目標 ① 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します【ごみ】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価
31	1	市民1人1日あたりの家庭からの ごみ排出量	662g/人・日(R3) 以下	668g/人・日 以下	649g/人・日	○
32	2	事業系ごみの減量化(排出量)	2,562t(R3) 以下	2,831t 以下	4,600t	△
33	3	焼却処理されるごみ量	15,000t(R3) 以下	16,071t 以下	19,286t	△
34	4	市民1人1日あたりの家庭可燃ご み量	400g/人・日(R1) 以下	400g/人・日(R1) 以下	477g/人・日	△

基本目標 ② 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます【リサイクル等】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価
35	5	リサイクル率	40%(R3)以上	38.2%以上	27.6% (H30)	△

環境の将来像Ⅴ	2指標	○	2指標
		△	0指標
		×	0指標

※地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち(低炭素社会の構築)

基本目標 ① 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます【省エネ】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価
36	1	地球にやさしい生活を実践している市民の割合	75%(R2)以上	73%以上	76.2% (H28)	○

基本目標 ② 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めます【創エネ】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価
37	2	補助金助成により設置された住宅用太陽光発電設備の出力	4,300kW(R2) 以上	2,600kW 以上	・令和元年度: 202.46kW ・累計:4,878.11kW	○

環境の将来像VI	7指標	○	5指標
		△	2指標
		×	0指標

※環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち(協働社会の構築)

基本目標 ① 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます【育成】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価
38	1	(仮称)あやせ環境教育推進基本計画の策定と推進	平成26年度策定 その後計画に基づき推進	推進	推進	○
39	2	環境学習プログラム集の活用	累計7件	累計2件	累計3件	○
40	3	あやせエコっと21学童編(応募者数)	累計1,000人 以上	累計400人	累計528人	○

基本目標 ② 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます【4者】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価
41	4	あやせエコっと21家庭編(応募家庭数)	1,000家庭以上	800家庭以上	・節電:187世帯 ・マイバック:494世帯 ・家電買換え:13世帯 ・再配達防止:47世帯 計741世帯	△

基本目標 ③ 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めます【事業者】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価
42	5	あやせエコっと21事業所(登録事業所)※	100事業所	85事業所	元年度:1事業所 累計:48事業所	△

基本目標 ④ 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます【情報】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和元年度 目標値	令和元年度 実績	評価
43	6	環境報告書の発行	年1回	年1回	1月に発行	○
44	7	環境情報の発行	年1回	年1回	8月に発行	○

※行動計画、教育計画で目標値を見直しています。

【 資料編 】

(2) 第3期綾瀬市環境行動計画

環境の将来像 I				総合評価	
豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち (自然共生社会の構築)					
※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」					
総合評価は、◎9項目、○2項目、△2項目、×1項目となりました。 未達成となったNo.10-4「生垣奨励事業の推進」について、引き続き周知を図る必要があります。				◎	9
				○	2
				△	2
				×	1
基本目標 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます				評価	
全4項目のうち、◎3項目、△1項目となりました。				◎	3
				○	0
				△	1
				×	0
行動内容		元年度目標 / 評価	取組実績	評価	
方針(1)綾瀬の生物を知る、生物多様性を守り、育む					
1	1	生物多様性行動戦略策定に向けた調査の実施	調査実施 ◎	R01：県計画の情報収集	◎
方針(2)カワセミやホタルなど綾瀬に生育・生息する生物を調べ、健全な生態系を育む					
2	2	生物の生育・生息状況調査	1回以上 ◎	R01：ほたる鑑賞会(6月)	◎
3	3	特定外来生物駆除の推進	アライグマ捕獲頭数年120頭以上 △	R01：90頭	△
方針(3)都市に隣接した良好な里地里山の良好な生物生息環境を育み、つなぐ					
4	4	目久尻川の多自然型護岸整備及びビオトープを念頭においた公園整備	保全及び指定準備 ◎	R01：ビオトープを念頭においた公園整備内容の情報収集を行った	◎
基本目標 ② 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします				評価	
全4項目のうち、◎2項目、○1項目、×1項目となりました。 No.10-4「生垣奨励事業の推進」について、周知に努めましたが、事業実施には至りませんでした。				◎	2
				○	1
				△	0
				×	1
行動内容		元年度目標 / 評価	取組実績	評価	
方針(2)水辺の斜面林など里地里山環境を保全・再生する					
7	1	里山再生と持続可能な森づくり	緑地保全を累計3か所以上指定 ◎	R01：取内の森、長峰の森、落合キツツキの森など計9か所	◎

方針(3) 身近な緑をつくり、育てる					
8	2	緑地及び樹木の管理のための補助	43箇所 ◎	R01 : 43箇所 ◎	
9	3	緑地保全地区の確保	117,310㎡ ○	R01 : 116,733㎡継続 ○	
10	4	生垣推奨事業の推進	1人以上 ×	R01 : 申請0件 ×	
基本目標③ カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります				評価	
行動内容は設定しないが環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。					
基本目標④ 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます				評価	
全6項目のうち、◎4項目、○1項目、△1項目となりました				◎	4
				○	1
				△	1
				×	0
行動内容	元年度目標 / 評価	取組実績	評価		
方針(1) 農地を保全し、農地の環境保全機能を向上する					
12	1	若手農業者、新規就農者の確保	1人以上 ◎	R01 : 1人 ◎	
13	2	農業ボランティア活動の推進	年1回以上 (延べ320人) ◎	R01 : 援農ボランティア養成講座 (月2回、 延べ408人) ◎	
14	3	農用地利用集積制度の活用	利用斡旋40件 以上 ◎	R01 : 66件 ◎	
方針(2) 土と農と食とのふれあいを高める					
15	4	農地を通じた緑とふれあい 場としての収穫祭の開催	年1回以上 (30,000人以上) (3事業者以上) ○	R01 : 収穫祭の実施への支援 (約23,000 人、3事業者) ○	

16	5	学校給食への市内農畜産物の供給	20%以上	R01：12%	△
			△		
17	6	市民ふれあい農園の整備	6箇所以上の維持	R01：市内6箇所のふれあい農園を整備、維持運営	◎
			◎		
環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち (生活環境の保全・改善) <small>※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」</small>					総合評価
行動内容を設定しないため、評価なし。					
基本目標 ① 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします					評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。					
基本目標 ② さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります					評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。					
基本目標 ③ 航空騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住みよいまちにします					評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。					
環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち (文化・都市環境の形成) <small>※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」</small>					総合評価
総合評価は、◎6項目、△1項目となりました。					◎ 6 ○ 0 △ 1 × 0
基本目標 ① 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます					評価
全1項目のうち、◎1項目となりました。					◎ 1 ○ 0 △ 0 × 0
行動内容		元年度目標 ／評価	取組実績		評価
方針(2) 綾瀬の歴史・文化とふれあい、知る					
23	1	癒しの音風景の検討・発見	研究	R01：先進自治体取組例の調査研究	◎
			◎		
基本目標 ② 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくります					評価
全2項目のうち、◎2項目となりました。					◎ 2 ○ 0 △ 0 × 0

行動内容		元年度目標 ／評価	取組実績	評価	
方針(2) 良好な街並みをつくる					
24	1	違反屋外広告物除却活動の実施	年1回以上 ◎	R01：違反屋外広告物除却キャンペーン（9月） ◎	
25	2	景観形成重点地区の指定に向けた事業の実施	年1回以上 ◎	R01：綾瀬市景観審議会（8月） ◎	
基本目標 ③ 人と環境にやさしい交通体系を整備します				評価	
全4項目のうち、◎3項目、△1項目となりました。				◎	3
				○	0
				△	1
				×	0
行動内容		元年度目標 ／評価	取組実績	評価	
方針(2) 環境にやさしい交通利用をすすめる					
27	1	バスの乗り換え拠点の整備	駐輪場1か所 ◎	R01：駐輪場の環境整備（放置自転車撤去等）を実施 ◎	
28	2	コミュニティバスの利用増加(H24年度比) (H24年度利用者数： 173,895人)	7%増 △	R01：約3.7%増（180,348人） △	
方針(3) 安全で環境負荷の少ない道をつくる					
29	3	市道のバリアフリー化	2路線 ◎	R01：並塚笹山線、東山線、市道343号線工事完了 ◎	
30	4	自転車・歩行者道の整備	350m ◎	R01：並塚笹山線242m、東山線273m工事完了 ◎	
基本目標 ④ オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます				評価	
行動内容は設定しないが、環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。					
基本目標 ⑤ ごみが散乱しないきれいなまちにします				評価	
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。					

環境の将来像Ⅳ				総合評価	
ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち (循環型社会の構築)					
※目標どおり「◎:100%」、ほぼ目標どおり「○:80%~」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」					
総合評価は、◎5項目、△3項目となりました。				◎	5
				○	0
				△	3
				×	0
基本目標① 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します				評価	
全4項目のうち、◎3項目、△1項目となりました。				◎	3
				○	0
				△	1
				×	0
行動内容	元年度目標 /評価	取組実績	評価		
方針(1) ごみの発生抑制と減量化を進める					
32	1	生ごみ処理容器購入費助成	年30基以上 ◎	R01:41基	◎
33	2	家庭系ごみの減量化	3%削減 △	R01:0.14%削減	△
34	3	マイバック等の持参啓発	年1回以上 (1団体以上) (50人以上) ◎	R01:166人、494口(エコっと21家庭編) レジ袋削減推進店:26店	◎
方針(2) 廃棄物の適正処理を進める					
35	4	中間処理施設での搬入物検査、環境測定の実施	年1回以上 ◎	R01:高座清掃施設組合ダイオキシン立会い、搬入物検査立会い	◎
基本目標② 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます				評価	
全4項目のうち、◎2項目、△2項目となりました。				◎	2
				○	0
				△	2
				×	0
行動内容	元年度目標 /評価	取組実績	評価		
方針(1) 循環型社会の構築を進める					
39	1	リサイクルプラザの循環型社会構築に向けた拠点としての活用と活性化	事業2回以上 ◎	R01:30回	◎

方針(2) 資源の再使用・再生利用を進める					
40	2	ツカエルフェアの開催	年2回以上 △	R01：1回（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回中止） △	
41	3	ごみのリサイクル（本庁舎）	80%以上 ◎	R01：80% ◎	
42	4	木製家具のRPF化	150 t △	R01：約66 t △	
環境の将来像V 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち （低炭素社会の構築） <small>※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」</small>				総合評価	
総合評価は、◎15項目、○1項目、△3項目、×3項目となりました。 未達成となったNo. 61-3「事業者用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援」について、引き続き周知を行う必要があります。				◎	16
				○	2
				△	2
				×	2
基本目標① 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます				評価	
全16項目のうち、◎12項目、○1項目、△2項目、×1項目となりました。 No. 46-4「市役所の水道使用量の削減(平成25年度比)」について、「未達成」となりました。節水等に努めていますが、衛生面の観点からも削減は難しい現状です。				◎	12
				○	1
				△	2
				×	1
		行動内容	元年度目標 ／評価	取組実績	評価
方針(2) 省エネを進める					
43	1	電気自動車の導入補助	10件以上 ◎	R01：16件 ◎	◎
44	2	市役所の電気使用量の削減 (平成25年度比)	2%削減 ◎	(H25：1,430,150kWh) R01：1,378,885kWh(約4%減)	◎
45	3	市役所の都市ガス使用量の削減 (平成25年度比)	40%削減 △	(H25：116,784m ³) R01：86,597m ³ (約26%削減)	△
46	4	市役所の水道使用量の削減 (平成25年度比)	2%削減 ×	(H25：3,984m ³) R01：6,600m ³ (約66%増)	×

47	5	あやせエコっと21（事業編）への参加促進 ※	60事業所以上 ○	R01：48事業所	○
48	7	事業所が取り組む省エネ活動の紹介	1事業所 ◎	R01：エコっと21（事業所編）登録事業所活動報告を環境報告書内に掲載	◎
49	8	市民・事業所でのクリーンエネルギーカーや燃費基準適合車の導入促進（電気自動車導入補助）	導入補助10件以上 ◎	R01：16件	◎
方針(3) 低炭素型都市づくりを進める					
50	9	目久尻川の水辺を活かした親水公園（クールスポット）の整備	目久尻川親水公園の用地買収 △	H28：詳細設計・検討会を実施。用地については5回交渉を行なったが、地権者の同意を得られず。 H29：地権者と調整（4回） H30：地権者と調整（1回） R01：引き続き交渉に向け準備	△
51	10	街灯・道路照明のLED化の推進	累計50基以上 ◎	R01：24基 累計：131基	◎
52	11	歩道など歩行者空間の整備	累計3路線以上 ◎	R01：並塚笹山線・東山線・市道325号線工事完了	◎
53	12	自転車走行ゾーンの検討と整備	累計3路線以上 ◎	H28：市道1号線（工事完了） H29：市道116号線（工事完了） R01：市道20号線（工事完了）	◎
54	13	透水性舗装の促進	200m ◎	H30：市道343号線(200m)	◎
方針(4) 蓄エネなどによるエネルギーの有効利用を進める					
55	14	スマートエネルギー設備導入補助	60件以上 ◎	R01：76件	◎
56	15	事業所における省エネ診断などの促進	累計2事業所以上 ◎	H28：さがみ野工業団地協同組合対象省エネ講座(11月)(10社) H29：商工会対象省エネ講座(3月)(8社) H30：実績なし R01：広報あやせで周知を実施(EMS)	◎

57	16	事業所におけるEMS(エネルギーマネジメントシステム)導入の普及・支援	啓発年1回以上 ◎	R01：事業所のEMS導入促進を掲載（6/1号広報）、エコつと21（事業所編）登録事業所活動報告を環境報告書内に掲載	◎	
58	17	事業活動温暖化対策計画届出制度の普及	啓発年1回以上 ◎	R01：広報あやせで周知を実施	◎	
基本目標② 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めます					評価	
全6項目のうち、◎3項目、△1項目、×2項目となりました。 No. 61-3「事業者用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援」について、「未達成」となりました。引き続き、補助事業の周知を行う必要があります。					◎	4
					○	1
					△	0
					×	1
行動内容		元年度目標 /評価	取組実績		評価	
方針(1) 太陽光など再生可能エネルギーの活用を進める						
59	1	住宅用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成50件以上 ○	R01：40件	○	
60	2	共同住宅用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成1件以上 ◎	R01：1件	◎	
61	3	事業者用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成1件以上 ×	R01：0件	×	
62	4	公園でのハイブリッド照明灯等の導入	2基以上 ◎	R01：LED照明灯を10基導入	◎	
63	5	風力など未利用エネルギーに関する情報の収集と提供	情報収集 ◎	R01：県からの通知等により、未利用エネルギーに関する情報収集	◎	

64	6	事業所での未利用エネルギー活用の検討	情報収集	R01：県からの通知等により、再生可能エネルギーに関する情報収集	◎
			◎		
環境の将来像VI 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち（協働社会の構築） <small>※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」</small>					総合評価
評価対象の2項目について、◎1項目、△1項目となりました。					◎ 1 ○ 0 △ 1 × 0
基本目標① 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます					評価
行動内容は設定しないが、環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。					
基本目標② 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます					評価
全1項目のうち、◎1項目となりました。					◎ 1 ○ 0 △ 0 × 0
行動内容		元年度目標 ／ 評価	取組実績		評価
方針(3) 環境交流（環境イベントの実施などによる交流）と連携を深め、協働を進める					
66	1	環境学習拠点としての活用	事業実施 年4回以上	R01：27回	◎
			◎		
基本目標③ 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めます					評価
全1項目のうち、△1項目となりました。					◎ 0 ○ 0 △ 1 × 0
行動内容		元年度目標 ／ 評価	取組実績		評価
方針(2) 事業活動における環境対策を進める					
67	1	綾瀬市CSR経営表彰	年1社以上	R01：公募の結果により、応募事業所なし	△
			△		
基本目標④ 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます					評価
環境教育推進基本計画アクションプランにより進行管理を実施。					

※環境指標から目標値を見直しています。

(空ページ)

【資料編】(3)第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)

資料 削減計画内訳達成度

施設名	元年度二酸化炭素排出量(kg-CO2)								元年度 排出量計	25年度 排出量計
	A重油	灯油	都市 ガス	ガソ リン	軽油	LP ガス	天然 ガス	電力		
本庁舎(管財契約課)	0	0	193,111	0	0	0	0	645,318	838,429	798,593
綾北福祉会館(福祉総務課)	0	0	13,182	0	0	0	0	12,268	25,450	23,436
もみの木園(障がい福祉課)	0	0	0	0	0	1,083	0	13,163	14,246	23,085
本蓼川墓園(高齢介護課)	0	0	0	0	0	0	0	2,175	2,175	3,300
大上保育園(子育て支援課)	0	0	23,629	0	0	0	0	30,341	53,970	49,406
綾南保育園(子育て支援課)	0	0	16,645	0	0	0	0	28,455	45,100	50,235
旧保健医療センター	0	0	0	0	0	0	0	7,943	7,943	54,013
寺尾児童館(青少年課)	0	0	0	0	0	12	0	4,086	4,098	3,731
小園児童館(青少年課)	0	0	0	0	0	21	0	3,516	3,537	2,127
ながつ児童館(青少年課)	0	0	2,841	0	0	0	0	7,843	10,684	6,226
リサイクルプラザ	0	1,128	58,638	0	0	0	0	60,245	120,011	111,152
市内公園(みどり公園課)	0	0	0	333	0	0	0	170,384	170,716	170,269
道路照明灯(道路管理課)	0	0	0	0	0	0	0	525,913	525,913	659,201
道路補修(道路管理課)	542	0	0	0	0	72	0	0	614	767
浄水管理センター(下水道課)	0	0	0	0	0	188	0	1,377,099	1,377,287	1,537,470
上土棚中継ポンプ場(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	67,602	67,602	84,917
マンホールポンプ(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	34,791	34,791	38,853
流量計2基(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	22	22	25
消防本部(消防総務課)	0	0	0	0	0	3,696	0	65,259	68,955	81,994
消防北分署(消防総務課)	0	0	0	0	0	2,262	0	24,595	26,857	21,733
消防南分署(消防総務課)	0	0	0	0	0	2,081	0	28,707	30,788	43,116
中央分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	2	0	1,015	1,017	1,232
綾北分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	3	0	1,340	1,343	1,493
寺尾分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	1,002	1,002	1,176
早園分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	4	0	1,168	1,172	1,095
綾西分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	2	0	1,964	1,966	1,297
綾南分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	10	0	1,079	1,089	1,389
綾瀬小学校	0	0	41,175	24	0	0	0	144,902	186,101	118,574
綾北小学校	0	383	0	46	0	42	0	98,464	98,935	62,757
綾西小学校	0	0	62,928	0	0	64	0	107,657	170,649	112,918
早園小学校	0	759	85	70	0	0	0	79,429	80,343	52,935
綾南小学校	0	996	58	131	0	0	0	98,712	99,897	58,637
天台小学校	0	369	29	63	0	0	0	119,310	119,771	57,800
北の台小学校	0	269	0	116	0	40	0	95,647	96,072	152,139
落合小学校	0	5,229	0	85	0	15	0	74,367	79,696	108,848
土棚小学校	0	359	45	139	0	0	0	101,071	101,614	112,544
寺尾小学校	0	79,961	0	95	0	72	0	98,003	178,131	119,919
綾瀬中学校	0	76,712	0	114	0	124	0	119,868	196,817	158,650
綾北中学校	0	852	0	232	0	51	0	154,095	155,230	229,196
城山中学校	0	642	0	92	0	35	0	118,753	119,523	181,165
北の台中学校	0	20,418	0	162	0	88	0	117,566	138,234	178,666
春日台中学校	0	919	0	92	0	72	0	140,939	142,022	135,470
学校給食センター	0	0	305,599	0	0	0	0	156,907	462,506	565,573
適応指導教室(教育研究所)	0	0	0	0	0	0	0	2,755	2,755	2,722
文化財収蔵庫(生涯学習課)	0	179	0	0	0	3	0	1,549	1,731	2,732
市民スポーツセンター(スポーツ課)	0	0	79,756	0	0	0	0	255,244	335,000	359,020
市民文化センター(文・中・図・高福含む)	0	0	160,571	0	0	0	0	335,988	496,559	509,667
中村地区センター	0	0	0	0	0	0	0	14,290	14,290	18,429
早園地区センター	0	0	0	0	0	0	0	5,687	5,687	5,462
吉岡地区センター	0	0	0	0	0	0	0	6,905	6,905	9,946
綾南地区センター	0	0	0	0	0	0	0	22,959	22,959	31,940
北の台地区センター	0	0	0	0	0	0	0	21,709	21,709	29,621
寺尾いずみ会館	0	0	43,438	0	0	0	0	40,052	83,490	73,947
南部ふれあい会館	0	0	46,890	0	0	0	0	38,741	85,631	74,040
神崎遺跡資料館	0	0	0	0	0	0	0	5,547	5,547	-
綾西高齢者憩いの家	0	0	0	0	0	0	0	3,607	3,607	-
保健福祉プラザ	0	0	569	0	0	0	0	45,710	46,278	-
管財契約課管理公用車	0	0	0	78,691	6,286	0	0	0	84,978	99,243
リサイクルプラザ管理公用車※	0	0	0	4,247	114,935	5	1,296	0	120,483	131,021
道路課管理公用車	0	0	0	4,192	8,070	0	0	0	12,262	17,721
消防総務課管理公用車	0	0	0	55,908	35,222	0	0	0	91,130	81,394
合計	542	189,175	1,049,188	144,832	164,514	10,046	1,296	5,743,732	7,303,325	7,624,027

※基準年度である平成25年度のLPガス使用量に誤り及び東京電力の排出係数に変更がありましたが、計画値は変更しません。

平成25年度総排出量(計画値)7,659,347

・小数点以下は四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

25・元年度比較		削減目標					元年度目標達成値		
増減率 %	増減量 kg-CO2	削減内容	削減率 %	削減 kg-CO2	達成時 kg-CO2	達成時 施設全体 kg-CO2	削減率 %	削減 kg-CO2	達成率%
		都市ガス△40% (B)	40.0%	104,171	156,257	581,883	(B) 25.8%	67,317	65%
5%	39,836	節電行動 (A)	2.0%	10,763	425,626		-19.9%	-107,153	-95%
		照明器具3,000本をLED化	20.9%	101,776			0.0%	0	
8.6%	2,013	節電行動 (A)	2.0%	257	12,576	23,155	4.4%	565	220%
-38.3%	-8,839			436	21,357	22,608	39.6%	8,630	1980%
-34.1%	-1,125			66	3,228	3,228	34.0%	1,119	1698%
9.2%	4,564			589	28,879	48,761	-3.0%	-873	-148%
-10.2%	-5,135			545	26,686	49,639	-4.5%	-1,225	-225%
-85.3%	-46,070			1,075	52,668	52,837	85.2%	45,800	4261%
9.8%	367			74	3,637	3,650	10.1%	-374	-504%
66.3%	1,409			40	1,948	2,084	-76.9%	-1,528	-3844%
71.6%	4,458			112	5,468	6,104	-40.6%	-2,263	-2028%
8.0%	8,860			1,226	60,056	109,810	1.7%	1,036	85%
0.3%	448				169,950				
-20.2%	-133,288	道路照明灯50本をLED化 (C)	3.0%	19,466	638,494	638,494	(C) 20.1%	132,047	678%
-19.9%	-153				767				
-10.4%	-160,183				1,534,575				
-20.4%	-17,315				84,757				
-10.5%	-4,062				38,780				
-11.9%	-3				25				
-15.9%	-13,039	節電行動 (A)	2.0%	1,538	75,379	80,311	15.2%	11,658	758%
23.6%	5,124			385	18,875	21,312	-27.7%	-5,335	-1385%
-28.6%	-12,328			818	40,084	42,221	29.8%	12,195	1491%
-17.5%	-215			25	1,202	1,205	17.3%	212	863%
-10.0%	-149			30	1,453	1,460	9.6%	143	482%
-14.8%	-174			23	1,147	1,150	14.4%	168	719%
7.1%	77			22	1,062	1,071	-7.8%	-84	-389%
51.6%	669			26	1,263	1,269	-52.3%	-675	-2617%
-21.6%	-300			28	1,356	1,358	22.0%	305	1101%
56.9%	67,527			1,847	90,517	116,726	-56.9%	-52,537	-2844%
57.6%	36,178			1,219	59,734	61,538	-61.5%	-37,511	-3077%
51.1%	57,731			1,447	70,879	111,472	-48.9%	-35,332	-2443%
51.8%	27,409			1,018	49,882	51,917	-56.1%	-28,530	-2803%
70.4%	41,260			1,149	56,324	57,487	-71.8%	-41,238	-3588%
107.2%	61,971			1,127	55,225	56,673	-111.7%	-62,959	-5586%
-36.9%	-56,067			1,343	65,827	150,796	-42.4%	-28,477	-2120%
-26.8%	-29,152			974	47,715	107,874	-52.7%	-25,678	-2637%
-9.7%	-10,930			1,259	61,681	111,285	-60.6%	-38,131	-3029%
48.5%	58,211			1,301	63,731	118,619	-50.7%	-32,971	-2535%
24.1%	38,167			2,018	98,906	156,632	-18.8%	-18,943	-938%
-32.3%	-73,966			2,389	117,041	226,807	-29.0%	-34,666	-1451%
-34.0%	-61,642			1,728	84,694	179,436	-37.4%	-32,330	-1870%
-22.6%	-40,431			1,777	87,084	176,888	-32.3%	-28,705	-1615%
4.8%	6,553	2,672	130,928	132,798	-5.5%	-7,339	-275%		
-18.2%	-103,066	A重油、LPガスを都市ガスに変更 (D)	28.3%	113,591	287,190 (164,481)	451,671	(D) 23.7%	95,182	84%
1.2%	33	節電行動 (A)	2.0%	54	2,657	2,663	-1.6%	-44	-81%
-36.6%	-1,001			50	2,447	2,677	38.0%	948	1899%
-6.7%	-24,019				358,491				
-2.6%	-13,108				509,667				
-22.5%	-4,138				18,394				
4.1%	225				5,452				
-30.6%	-3,041				9,928				
-28.1%	-8,981				31,895				
-26.7%	-7,912				29,580				
12.9%	9,543				73,872				
15.7%	11,591				73,959				
-	-				9,928				
-	-				3,759				
-	-				131,236				
-14.4%	-14,265				99,243				
-8.0%	-10,538	軽油 (E) 2.34%	2.34%	2,915	121,860 (48,099)	169,959	(E) 7.89%	9,840	338%
-30.8%	-5,459				17,721				
12.0%	9,736				81,394				
-4.2%	-320,701			383,368	3,133,025	7,420,902		-237,737	-62.0%

(p25 5(1)) (A): 節電行動設定施設の電力使用に係る令和元年度kg-CO2の合計(2,614,573kg-CO2)÷節電行動設定施設の電力使用に係る平成25年度kg-CO2の合計(2,072,449kg-CO2) ※
=約26.2%増

※電力使用による二酸化炭素排出量から集計(p48参照)

参考資料

活動項目別・施設別使用量及び二酸化炭素排出量

※ 単位未満四捨五入のため、合計や内訳が一致しない場合があります。

【ガソリン】

二酸化炭素排出係数：2.32

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	元年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	元年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
市内公園 (みどり公園課)	379	143	-236	880	333	-548	-62.2%
小学校10校	322	331	9	748	769	21	2.8%
中学校5校	181	299	118	419	693	273	65.2%
公用車	64,905	61,654	-3,251	150,580	143,038	-7,542	-5.0%
合計	65,788	62,428	-3,360	152,627	144,832	-7,795	-5.1%

【灯油】

二酸化炭素排出係数：2.49

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	元年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	元年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
小園児童館 (青少年課)	40	0	-40	100	0	-100	-100.0%
リサイクルプラザ	243	453	210	605	1,128	523	86.4%
小学校10校	86,553	35,472	-51,081	215,517	88,325	-127,191	-59.0%
中学校5校	141,814	39,977	-101,837	353,117	99,543	-253,574	-71.8%
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	90	72	-18	224	179	-45	-20.0%
地区センター2館	6,321	0	-6,321	15,739	0	-15,739	-100.0%
合計	235,061	75,974	-159,087	585,302	189,175	-396,126	-67.7%

【都市ガス】

二酸化炭素排出係数：2.23

施設名	使用量 (m3)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	元年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	元年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
本庁舎 (管財契約課)	116,784	86,597	-30,187	260,428	193,111	-67,317	-25.8%
綾北福祉会館 (福祉総務課)	4,744	5,911	1,167	10,579	13,182	2,602	24.6%
大上保育園 (子育て支援課)	8,916	10,596	1,680	19,883	23,629	3,746	18.8%
綾南保育園 (子育て支援課)	10,293	7,464	-2,829	22,953	16,645	-6,309	-27.5%
ながつ児童館 (青少年課)	285	1,274	989	636	2,841	2,205	347.0%
リサイクルプラザ	22,040	26,295	4,255	49,149	58,638	9,489	19.3%
小学校6校	47,733	46,780	-953	106,445	104,319	-2,125	-2.0%
学校給食センター	0	137,040	137,040	0	305,599	305,599	皆増
市民スポーツセンター (スポーツ課)	35,138	35,765	627	78,358	79,756	1,398	1.8%
市民文化センター (文・中・図・高福含む)	77,290	72,005	-5,285	172,357	160,571	-11,786	-6.8%
寺尾いずみ会館	15,281	19,479	4,198	34,077	43,438	9,362	27.5%
南部ふれあい会館	13,784	21,027	7,243	30,738	46,890	16,152	52.5%
保健福祉プラザ	0	255	255	0	569	569	皆増
合計	352,288	470,488	118,200	785,602	1,049,188	263,586	33.6%

【軽油】

二酸化炭素排出係数：2.58

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	元年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	元年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
市内公園 (みどり公園課)	119	0	-119	307	0	-307	-100.0%
公用車	68,511	63,765	-4,746	176,759	164,514	-12,245	-6.9%
合計	68,630	63,765	-4,865	177,066	164,514	-12,552	-7.1%

【A重油】

二酸化炭素排出係数：2.71

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	元年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	元年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
道路補修 (道路管理課)	200	200	0	542	542	0	0.0%
学校給食センター	146,000	0	-146,000	395,660	0	-395,660	-100.0%
合計	146,200	200	-146,000	396,202	542	-395,660	-99.9%

【LPガス】

二酸化炭素排出係数：3.00

施設名	使用量 (m3)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	元年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	元年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
もみの木園 (障がい福祉課)	417	361	-56	1,251	1,083	-168	-13.4%
旧保健医療センター	56	0	-56	169	0	-169	-100.0%
児童館2館	16	11	-5	49	33	-16	-32.1%
道路補修 (道路管理課)	75	24	-51	225	72	-153	-67.9%
浄水管理センター (下水道課)	47	63	16	141	188	47	33.2%
消防本部 (消防総務課)	1,644	1,232	-412	4,932	3,696	-1,236	-25.1%
消防北分署 (消防総務課)	812	754	-58	2,437	2,262	-175	-7.2%
消防南分署 (消防総務課)	712	694	-19	2,137	2,081	-56	-2.6%
分団6車庫 (消防総務課)	10	7	-3	30	21	-9	-30.0%
小学校6校	54	78	23	162	233	70	43.3%
中学校5校	124	123	-1	371	370	-1	-0.2%
学校給食センター	1,707	0	-1,707	5,121	0	-5,121	-100.0%
適応指導教室 (教育研究所)	2	0	-2	6	0	-6	-100.0%
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	2	1	-1	6	3	-3	-50.0%
市民スポーツセンター (スポーツ課)	46	0	-46	138	0	-138	-100.0%
地区センター5館	99	0	-99	296	0	-296	-100.0%
小計	5,823	3,347	-2,476	17,469	10,041	-7,428	-42.5%
公用車 ※	14	2	-12	42	5	-37	-89.2%
合計	5,837	3,349	-2,488	17,511	10,046	-7,465	-42.6%

※ 計画時、平成25年度の使用量に誤り (誤) 13,965.0m³ ⇒ (正) 13,965m³ = 約14m³
合計 (誤) 19,788.0m³ ⇒ (正) 5,837.000m³

【天然ガス】

二酸化炭素排出係数：2.22

施設名	使用量 (m3)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	元年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	元年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
公用車	900	584	-316	1,998	1,296	-702	-35.1%
合計	900	584	-316	1,998	1,296	-702	-35.1%

【電力】

施設名	使用量 (kWh)		
	25年度 (基準年度)	元年度	対基準年度 増減量
本庁舎 (管財契約課)	1,427,493	1,378,885	-48,608
綾北福祉会館 (福祉総務課)	24,213	26,214	2,001
もみの木園 (障がい福祉課)	41,119	28,126	-12,993
本蓼川墓園 (高齢介護課)	6,214	4,647	-1,567
大上保育園 (子育て支援課)	55,600	64,831	9,231
綾南保育園 (子育て支援課)	51,378	60,802	9,424
旧保健医療センター	101,402	25,707	-75,695
児童館3館(青少年課)	21,281	33,001	11,720
リサイクルプラザ	115,626	125,279	9,653
内訳		(84,909)	
		(40,370)	
市内公園 (みどり公園課)	318,421	364,068	45,647
道路照明灯 (道路管理課)	1,241,434	1,123,746	-117,688
浄水管理センター (下水道課)	2,895,159	3,115,609	220,450
上土棚中継ポンプ場 (下水道課)	159,919	152,946	-6,973
マンホールポンプ (下水道課)	73,170	74,340	1,170
流量計2基(下水道課)	48	48	0
消防本部 (消防総務課)	145,127	139,443	-5,684
消防北分署 (消防総務課)	36,340	52,554	16,214
消防南分署 (消防総務課)	77,173	61,340	-15,833
分団6車庫 (消防総務課)	14,410	16,172	1,762
小学校10校	1,499,289	2,003,076	503,787
中学校5校	1,251,156	1,282,674	31,518
内訳		(1,273,258)	
		(9,416)	
学校給食センター ※	310,342	308,872	-1,470
適応指導教室 (教育研究所)	5,115	5,887	772
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	4,711	3,309	-1,402
市民スポーツセンター (スポーツ課)	528,294	507,444	-20,850
市民文化センター (文・中・図・高福含む)	797,425	807,664	10,239
地区センター5館	149,460	166,662	17,202
内訳		(42,687)	
		(123,975)	
寺尾いずみ会館	75,086	96,279	21,193
南部ふれあい会館	81,548	93,128	11,580
神崎遺跡資料館	0	11,852	11,852
綾西高齢者憩いの家	0	7,708	7,708
保健福祉プラザ	0	195,341	195,341
合計	11,507,953	12,337,654	829,701

※ 東京電力㈱の排出係数に修正有 (環境省発表) (修正前) 0.53 ⇒ (修正後) 0.531

※ 計画時、平成25年度の電力事業者に誤り (誤) ㈱エネット ⇒ (正) 東京電力㈱

二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)					
25年度(基準年度)			元年度			対基準年度 増減量	対基準年度 増減率	
電力事業者	排出係数	排出量	電力事業者	排出係数	排出量			
昭和シェル石油(株)	0.377	538,165			645,318	107,153	19.9%	
東京電力(株) ※	0.531	12,857	東京電力エナジー パートナー(株)	0.468	12,268	-589	-4.6%	
		21,834			13,163	-8,671	-39.7%	
		3,300			2,175	-1,125	-34.1%	
		29,524			30,341	817	2.8%	
		27,282			28,455	1,174	4.3%	
		53,844			ミツウロコグリーンエネルギー(株)	0.309	7,943	-45,901
		11,300	東京電力エナジーパートナー(株)	0.468	15,444	4,144	36.7%	
		61,397			60,245	-1,152	-2%	
			東京電力エナジーパートナー(株)	0.468	(39,737)			
			(株)F-Power	0.508	(20,508)			
			169,082	東京電力エナジー パートナー(株)	0.468	170,384	1,302	0.8%
			659,201			525,913	-133,288	-20.2%
			1,537,329	丸紅新電力(株)	0.442	1,377,099	-160,230	-10.4%
			84,917			67,602	-17,315	-20.4%
			38,853	東京電力エナジー パートナー(株)	0.468	34,791	-4,062	-10.5%
			25			22	-3	-11.9%
	77,062	65,259	-11,803			-15.3%		
	19,297	24,595	5,299			27.5%		
	40,979	28,707	-12,272			-29.9%		
	7,652	7,568	-83			-1.1%		
(株)エネット	0.423	634,199	(株)F-Power	0.508	1,017,563	383,363	60%	
		529,239			651,222	121,983	23.0%	
			(株)F-Power	0.508	(646,815)			
			東京電力エナジーパートナー(株)	0.468	(4,407)			
東京電力(株) ※	0.531	164,792	(株)F-Power	0.508	156,907	-7,885	-4.8%	
		2,716	東京電力エナジー パートナー(株)	0.468	2,755	39	1.4%	
		2,502			1,549	-953	-38.1%	
		280,524	リエスパワー(株)	0.503	255,244	-25,280	-9.0%	
(株)エネット	0.423	337,311	イーレックス(株)	0.416	335,988	-1,323	-0.4%	
東京電力(株) ※	0.531	79,363			71,551	-7,812	-9.8%	
			東京電力エナジー パートナー(株)	0.468	(19,978)			
			イーレックス(株)	0.416	(51,574)			
東京電力(株) ※	0.531	39,871	イーレックス(株)	0.416	40,052	181	0.5%	
		43,302			38,741	-4,561	-10.5%	
-	-	0	東京電力エナジー パートナー(株)	0.468	5,547	5,547	皆増	
-	-	0			3,607	3,607	皆増	
-	-	0	みんな電力(株)	0.234	45,710	45,710	皆増	
		5,507,719			5,743,732	236,013	4.3%	

【 資料編 】

(4) あやせ環境教育推進基本計画（アクションプラン）

※目標どおり「◎:100%」、ほぼ目標どおり「○:80%~」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」

(1) 人材の育成と活用:4項目				総合評価	
全4項目について、「目標どおり」達成しました。				◎	4
				○	0
				△	0
				×	0
ア 指導者の育成等	元年度目標	取組実績	評価		
① 学校等教職員の指導力向上					
1	教職員の環境に関する研修会等への参加	5人以上	小学校教頭会で研修(6月) 10人参加 自然環境調査研究会を毎月開催 50人以上参加	◎	
② 地域社会における指導者の育成					
2	地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加	5人以上	ガスの科学館視察(12月) 12人参加	◎	
イ 人材の活用(指導者等の活用)	元年度目標	取組実績	評価		
3	環境に関する知識を有する人材の活用による講座等の実施	4講座以上	お日さま博士(5月)、ホテル鑑賞会(6月)、ミニソーラークッカーをつくろう!(8月)、水質検査教室(8月)、環境展(11月)、エネルギー展(11月)	◎	
4	学校等・地域・事業所等が開催する環境学習会等への講師派遣	4回以上	お日さま博士(5月)、ほたる鑑賞会(6月)、ミニソーラークッカーをつくろう!(8月) 環境展(環境紙芝居)(11月)	◎	
(2) プログラム等の整備と活用:6項目				総合評価	
全6項目について、「目標どおり」達成しました。				◎	6
				○	0
				△	0
				×	0
ア 教材・プログラムの整備	元年度目標	取組実績	評価		
5	発達段階、理解力、活動の場やテーマに応じ学習段階ごとのねらいを明らかにした体系的な環境教育プログラムの整備	補完	環境学習プログラム集を発行(10月)	◎	
6	市民・市民団体の有するノウハウを活かした体験型環境教育プログラムの整備			◎	
7	学校等における環境問題が正しく理解できるよう発達段階に応じた教材等の整備	2教材以上	自然環境調査研究会を「かわせみ」「あやびいとさがそうあやせのしぜん」を取り入れ、12回実施した	◎	
イ 教材・プログラムの活用	元年度目標	取組実績	評価		
8	プログラムが有効活用されるよう、環境教育を担う指導者や教職員へのプログラムの情報提供	1回以上	広報あやせ掲載(6月)、保育園、幼稚園及び児童クラブに情報提供(12月)	◎	
9	環境教育に関する教材、書籍、DVD等の活用	2教材以上	「綾瀬の野草」「綾瀬市環境学習ハンドブック かわせみ」を、小中学校の環境学習の際に活用	◎	

10	環境教育プログラム作成に伴う、市民・市民団体・事業所の協力	6団体以上	市民団体3団体、事業所1社、大学1校、市計6団体	◎
(3) 参加の場や機会づくり:37項目				総合評価
全37項目のうち、No.42「エコっと21事業所編の参加促進」については、目標には達しませんでした。8割以上達成しているため、またNo.45「カワセミ新聞の発行」については、広報あやせでの周知に変更したため、「ほぼ目標どおり」としました。				◎ 34
No.28「河川等水辺の美化活動の実施」については、「一部未達成」としました。				○ 2
				△ 1
				× 0
ア 学校等における環境教育等の充実		元年度目標	取組実績	評価
① 幼稚園・保育園での環境教育の充実				
幼児が、周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わり、それらを生活に取り入れていくとする力を養うため、楽しく、自然に学び、体験できる環境教育プログラムの幼稚園や保育所への導入を支援します。				
11	幼児が、楽しく、自然に学び、体験できる環境教育プログラムを幼稚園や保育所へ提供	2園以上	保育園、幼稚園及び児童クラブに情報提供(28箇所)	◎
環境の将来像Ⅰ 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち				
基本目標Ⅰ-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます				
12	自然(草花)やいきものへの興味と愛着を持つことを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
基本目標Ⅰ-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます				
13	地産地消の給食を導入する	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち				
基本目標Ⅱ-2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります				
14	水の大切さを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち				
基本目標Ⅲ-5 ごみが散乱しないきれいなまちにします				
15	園児とともに、園内及び園庭など施設周辺の清掃の実施	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
環境の将来像Ⅳ ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち				
基本目標Ⅳ-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します				
16	分別や資源の大切さを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
環境の将来像Ⅴ 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち				
基本目標Ⅴ-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます				
17	省エネ行動(節電・節水)を学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
イ 家庭・地域社会における環境教育の充実		元年度目標	取組実績	評価
① 環境に関する学習機会の充実				
地球温暖化の防止、生物多様性の保全、健全な物質循環を課題として捉え、廃棄物などの身近なものから地球規模の環境課題まで広範囲にわたる内容とし、環境課題ごとの関連性についても理解できるような環境教育を展開します。				

知識や理解に実感を持たせ行動に結びつけるため、自然や暮らしの中での体験活動や実践体験を取り入れた、各種の体験型教室等を環境教育の中心に位置付け開催します。				
18	環境展等のイベントの実施	6回以上	緑化フェア(5月)、美化キャンペーン(5月)、投棄防止キャンペーン(6月)、エコっと21(家庭編)キャンペーン(6-10月)、環境展(11月)、エネルギー展(11月)	◎
19	体験学習等講座(教室)の実施	6回以上	おひさま博士(5月)、ほたる鑑賞会(6月)、エコクッキング(7月)、ソーラークッカーをつくろう!(8月)、水質検査教室(8月)、リサイクル現場学習会(8月)、宮ヶ瀬ダム見学会(8月)、環境展(11月)、エネルギー展(11月)	◎
② 市民団体との連携・協働と支援				
20	市民団体と連携・協働して各種教室等の実施	4回以上	ほたる鑑賞会(6月)、エコクッキング(7月)、ソーラークッカー(8月)、宮ヶ瀬ダム見学(8月)、リサイクル現場学習会(8月)	◎
21	団体活動の支援	2団体以上	NPO法人ふるさと環境市民、綾瀬城山ほたる保存会	◎
ウ	事業所が行う環境教育等への支援	元年度目標	取組実績	評価
22	事業所対象の講座等の実施	1回以上	特定外来生物(アライグマ)に関する講習会を実施	◎
23	従業員向けの環境教育プログラムの提供	1回	環境学習プログラム集を発行	◎
24	事業所が実施する環境教育情報の提供	1回	環境学習プログラム集を発行	◎
※	家庭・地域社会・事業者共通	元年度目標	取組実績	評価
環境の将来像 I 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち				
基本目標 I-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます				
25	生物多様性に係る情報の提供	2回以上	緑化フェア(5月)、ほたる鑑賞会(6月)、環境展(11月)	◎
26	自然観察会・学習会など啓発活動の実施	2回以上	ほたる鑑賞会(6月)、宮ヶ瀬ダム見学会(8月)、環境展(11月)	◎
基本目標 I-2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします				
27	市内の自然や緑に関する情報の提供	1回以上	緑化フェア(5月)	◎
基本目標 I-3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります				
28	河川等水辺の美化活動の実施	50人以上	目久尻川クリーンアップ大作戦(5月)、比留川不法投棄パトロール(4回)計26人参加	△
基本目標 I-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます				
29	ふれあい農業体験の実施	1回以上	9回	◎
30	地場農産物を活用した料理教室の実施	1回以上	3回	◎
31	食育講座等の実施	1回以上	保健福祉プラザで実施(11月)36人参加	◎

環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち			
基本目標Ⅱ-1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします			
32	低公害車の普及・啓発事業の実施	1回以上	環境展(11月) ◎
33	エコドライブの啓発事業の実施	1回以上	環境展(11月) ◎
環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち			
基本目標Ⅲ-1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます			
34	文化財保護啓発事業の実施	1回以上	神崎遺跡資料館等で各種体験教室(14回) ◎
基本目標Ⅲ-4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます			
35	自然災害への意識啓発事業の実施	1回以上	自主防災組織の防災訓練及び市総合防災訓練 ◎
環境の将来像Ⅳ ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち			
基本目標Ⅳ-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します			
36	リデュース(ごみの発生抑制)の啓発	3回以上	おもちゃの病院、親子リサイクル現場教室、ツカエルフェア等 計36回 ◎
基本目標Ⅳ-2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます			
37	3Rの普及・啓発事業の実施	4回以上	おもちゃの病院、親子リサイクル現場教室、ツカエルフェア等 計37回 ◎
環境の将来像Ⅴ 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち			
基本目標Ⅴ-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます			
38	エネルギーや地球温暖化に関する講座の実施	4回以上	EMS実行員研修(4月)、ミニソーラークッカーをつくろう!(8月)、環境展(11月)、エネルギー展(11月) ◎
39	省エネ・創エネ体験などのエコイベントの実施	2回以上	おひさま博士(5月)、ソーラークッカーをつくろう!(8月)、環境展(11月)、エネルギー展(11月) ◎
40	エコっと21家庭編の参加促進	100人以上	参加者:267人 ◎
環境の将来像Ⅵ 環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんな協働するまち			
基本目標Ⅵ-1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます			
41	公開講座「ふるさと学習」の実施	1回以上	課題解決セミナー(6月)、郷土を知る講座(9月) ◎
基本目標Ⅵ-2 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます			
42	エコっと21事業所編の参加促進 ※	60事業所	48社 ○
43	農業理解に役立つ情報提供(広報紙等掲載)	1回以上	ふれあい農業体験収穫祭時、農業や畜産のPR資料を配布(12月) ◎

基本目標VI-4 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます				
44	環境関連報告書の発行	1回	環境報告書(平成30年度取組結果)発行(1月)	◎
45	カワセミ新聞の発行	1回	市広報紙での周知に変更	○
工	市職員への環境教育の推進	元年度目標	取組実績	評価
46	あやせEMSの運用	不適合0	不適合0	◎
47	研修会の実施	1回以上	EMS実行員研修(4月)	◎

(4) 情報提供と相談体制の整備: 2項目 総合評価

全2項目について、「目標どおり」達成しました。	◎	2
	○	0
	△	0
	×	0

ア	情報の提供	元年度目標	取組実績	評価
48	市における環境教育等を含む環境を守る取組に関し、広報あやせ、市ホームページや環境展等における情報提供	4回以上	環境学習講座、環境展開催等を広報あやせや市ホームページに掲載(22回) おもちゃの病院等3Rに関する情報(16回)	◎
イ	相談、問合せへの対応	元年度目標	取組実績	評価
49	市における環境教育等を含む環境を守る取組に関する相談、問合せなどへの適切な対応	適宜	環境教育などのイベントに係る問い合わせなどへの対応を適宜実施	◎

□ 小・中学校における行動計画: アクションプラン(学習指導要領)小学校14、中学校22、計36項目

(3) 参加の場や機会づくり—② 小学校・中学校での環境教育の充実(教育指導課)

各教科、道徳、総合的な学習の時間など、学校の教育活動全体を通して環境教育に取り組むよう指導します。

学習指導要領に基づき、地球温暖化対策(省エネルギー等)や資源循環(リサイクル等)、生物多様性の保全に関わる事項(生物多様性の重要性等)といった地球規模の環境問題と私たちの生活が関わりのあることなどを取り上げるよう指導します。

児童・生徒それぞれの発達の段階に応じた、環境に関する教育を実施します。実施にあたっては、児童・生徒が環境に関する正しい知識を習得するとともに、自ら体験することに重点を置いた指導に努めます。

地域の田畑、公園、緑地等を体験活動の場として、学校に応じて活用するよう指導します。

環境の将来像 I 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち

基本目標 I-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます		
1 2	小学校	身近な自然の観察 生物間の食う食われるという関係などの生物と環境とのかかわりを学ぶ
	1 2 3 4	中学校


		基本目標 I-2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします
3	小学校	自然環境を大切にすることを学ぶ
5	中学校	生物の育成環境と育成技術、生物育成に関する技術を利用した栽培又は飼育を学ぶ
		基本目標 I-3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります
4	小学校	自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気づき、自然を大切にすることを学ぶ
6	中学校	自然愛護を学ぶ
		基本目標 I-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます
5	小学校	綾瀬の農業を学ぶ
		環境の将来像 II 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち
		基本目標 II-1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします
6	小学校	公害から健康や生活環境を守ることの大切さを学ぶ
7		公害の防止など環境の保全を学ぶ
8	中学校	放射線の性質と利用を学ぶ
9		地域の実態に即して公害と健康の関係を学ぶ
		基本目標 II-2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります
7	小学校	綾瀬の水環境を学ぶ
		環境の将来像 III 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち
		基本目標 III-1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます
8	小学校	自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域について学ぶ
10	中学校	世界の人々の生活や環境の多様性を学ぶ
		基本目標 III-4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます
9	小学校	国土の保全のための森林資源の働きや自然災害の防止を学ぶ
		基本目標 III-5 ごみが散乱しないきれいなまちにします
10	小学校	自分の生活と身近な環境とのかかわりに気づき、物の使い方などの工夫を学ぶ
11	小・中学校	美化標語・美化ポスターへ応募する
		環境の将来像 IV ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち
		基本目標 IV-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します
12	中学校	環境の保全に十分に配慮した廃棄物処理の必要性を学ぶ
		基本目標 IV-2 資源を大切にし、再利用や再生利用を進めます
12	小学校	飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを学ぶ
13	中学校	自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫と実践を学ぶ


環境の将来像V 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち		
基本目標V-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます		
13	小学校 節水や節電などの資源の有効な利用を学ぶ	
14	中学校 環境やエネルギーに関する課題を学ぶ	
15		地球環境、資源・エネルギーなどの課題解決のための経済的、技術的な協力の大切さを学ぶ
16		日常生活や社会における様々なエネルギー変換の利用を学ぶ
17		人間は、水力、火力、原子力などからエネルギーを得ていること、エネルギーの有効利用の大切さを学ぶ
環境の将来像VI 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち		
基本目標VI-1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます		
14	小学校 飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを学ぶ	
18	中学校 自然環境が地域の人々の生活や産業と関係をもっていることを学ぶ	
19		持続可能な社会の構築のため、地域における環境保全の取組の大切さを学ぶ
20		持続可能な社会の形成の観点から解決すべき課題探求を学ぶ
21		持続可能な社会をつくることの重要性を学ぶ
22		技術の進展が資源やエネルギーの有効利用、自然環境の保全に貢献することを学ぶ


※環境指標から目標値を見直しています。

【 資料編 】


(5) 市民環境団体の活動報告 (50音順)

団体名	
あやせ環境ネットワーク	
団体の目的・令和元年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 第2次綾瀬市環境基本計画の推進を図るため、市と連携して持続可能な社会づくりを目指し、活動しています。</p>	
<p>【令和元年度の活動概要】 (団体会員14名、個人会員14名) 運営委員会の開催 各プロジェクトチームで啓発事業等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生や親子向けの講座 (宮ヶ瀬ダム見学、親子リサイクル現場学習会、エコクッキング) ・あやせエコクラブ ・あやせエコっと21 	
(講座等の様子)	


団体名	
あやせくらしの会	
団体の目的・令和元年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 日常生活の中で、様々な事件・事故が多いなか、会員相互の親睦を図りながら賢い消費生活に対する知識を高める</p>	
<p>【令和元年度の活動概要】 5月：料理教室、高座豚まん作り 7月：勉強会、悪質商法の手口と対処法について 9月：社会見学、高座クリーンセンター 10月：調理実習、生活習慣病について 2月：勉強会、包括支援センター地域高齢者の総合的支援について</p>	
(勉強会の様子)	

団体名	
綾瀬城山ほたる保存会	
団体の目的・令和元年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 市内のホタルの保存活動を通して、豊かな都市環境を創造するため活動しています。</p>	
<p>【令和元年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生息地整備 ・ホタルガイド ・鑑賞会の開催 ・ほたるボランティアセミナー開催によるボランティアの募集及びスキルアップ ・行事参加による普及啓発 ・小学校への講師派遣 など 	

団体名	
あやせ緑普及会	
団体の目的・令和元年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】</p> <p>ビジョン : CO₂ (二酸化炭素) 削減 コンセプト : つる性植物の育成 (配布目標 300 本 / 年) その他 ミッション : 環境ネットワーク関係・個人関係・地域関係などから配布活動</p>	 <p>コキア植付指導</p>
<p>【令和元年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つる性植物や草花などの配布 ・ナタマメのさや(種)・ゴーヤの実の利用事業(お茶づくり)活動を開始して、8年がたちました。 <p>「現状話を聴き」つる性植物のエコが身をもってたいけんされました。令和元年もつる性植物の拡散を重点に置きCO₂削減を目指しました。</p> <p>次年度も削減効果を見つめてより多くの方に配布をして忘れかけているCO₂削減へ協力願いと削減へ努力して行きます。</p> <p>事業・・・コキア植付実習 ナタメメお茶づくり体験 その他 コキアで 箸(はうき)づくり 菊芋の効用と食用方法等</p>	 <p>打ち合わせ</p>  <p>鈍豆叩き潰し リズム感が出る 2020/10/12</p>

団体名	
落合キツツキの森管理委員会	
団体の目的・令和元年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 環境保全と市民の憩いの場、健康増進の場としての役割を担うことを目的とする。</p>	
<p>【令和元年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防のため、活動日数が減少した。 ・サマーフェスタ、ボランティア受入、野草観察会は中止した。 <p>①枯れ枝、倒木の除去 ②遊歩道の整備 ③除草作業</p>	

(作業の様子)

団体名	
おもちゃの病院あやせ	
団体の目的・令和元年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃの修理により、物を大切にする心を伝え、リサイクル意識の改善を推進する（リサイクル） ・おもちゃを通して、ドクターと子供たちのコミュニケーションを図る（地域参画） ・ドクターの技術向上と健康管理（生涯学習） 	
<p>【令和元年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第1・3日曜日 午後1時～午後3時 リサイクルプラザで開院しています。 ・2019年度23回の開院で233個のおもちゃを受け付けました。 その内222個を修理完了し返却できて、皆様に喜んで貰えたと思います。 11件は、残念ですが修理完了できませんでした。 ・環境展・福祉ふれあいまつり・シルバー祭りに参加させていただき広報活動ができました。 ・高齢化問題もあり、ドクター間の情報共有ノウハウの共有も推し進めたいと考えております。 	

(活動の様子)

団体名	
NPO法人ふるさと環境市民	
団体の令和元年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 「考えは地球規模で行動は足元から」をモットーに地球温暖化防止、マイクロプラスチック削減など地球環境保全の啓発を目的に、楽しくわかりやすい環境学習全般、地域の川清掃、ふるさとのまちづくりなどの活動をしています。</p>	
<p>【令和元年度の活動概要】</p> <p>1 環境学習出前講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県からの受託事業 「ふるさとの宝をさがそう！博士大集合」ホテル、たべもの、プラスチック、エネルギー、地球、もったいない、お日様、ふるさとの宝カルタなど各博士による出前授業。北の台小学校、城山中学校その他県内の学校で実施 ・自主事業 綾西小学校（ホテル学習一城山ほたる保存会と協力） ・あやせ環境学習プログラム協力 深谷保育園 お日さま博士 <p>2 市民提案型協働事業（リサイクルプラザ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み親子環境教室 もったいないを親子で学ぼう 「エコでおしゃれな新聞バックづくり」 <p>3 市委託事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み親子環境教室 「ミニソーラークッカーを作ろう」 ・「地球の未来とエネルギー展」企画実施 パネル展示と工作教室 <p>4 自主講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ペットボトルでランタンづくり」 ・講座「恐怖のマイクロプラスチック」講師 西寿子 <p>5 つなごう みんなでふるさとの川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄ウッチング 目久尻川等の不法投棄物の監視・通報 <p>6 まちづくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさとの宝カルタ」「綾瀬のおもしろ七不思議」普及啓発出前講座等市役所、小・中学校、公民館などで実施 	
(活動の様子)	
<p>7 他団体との共催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目久尻川クリーンアップ花いっぱい大作戦（あやせ環境ネットワーク）5月・10月の年2回実施 ・目久尻川ふれあいウォーク（あやせ環境ネットワーク・目久尻川ふるさとネットワーク） ・親子環境教室 「グルメでエコなクッキング」（あやせ環境ネットワーク） ・綾瀬市緑化フェア（綾瀬市） ・環境プラザオープニングイベント環境講座、（高座クリーンセンター） 	

【 資料編 】

(6) エコっと21 (事業所編) 登録事業所活動報告

登録番号 事業所名	取組の感想
第19-0001号 橋本鉄鋼(株)	年々、従業員がエコに対しての考えを深めていると思います。 今後も今以上にエコに対する環境に取り組むたいを考えております。
第19-0003号 株ワイ・ケー電子	社用車6台ともハイブリットカーとして環境負荷低減で省エネルギー化への成果を上げる事ができた。 ISO14001:2015版 (環境マネジメントシステム) の運用により、ISO9001:2015版 (品質マネジメントシステム) が良くなった。また、その逆も言える。
第19-0005号 株横浜製作所	工場内投光器のLED化もほぼ終わり工場天井灯以外はLEDに交換済みです。全体の電気の使用量についての比較は難しいですが、蛍光管や水銀灯の交換もなくなり結果として廃棄物の削減につながっています。 また毎年、年度初めに社内で募集している標語についても皆の環境意識が高まってきたことを感じる標語が増えてきております。 今年度も引き続き環境負荷の低減を目指し活動してまいります。
第19-0008号 株ラテン大和	低公害車の導入やエコドライブ、公共交通機関を利用しCO2排出量の削減に努めました。 社内一部LED化 (他も順次進める) 冷凍・冷蔵庫内の整理整頓徹底により使用電力の削減が出来ました。 今後も出来ることから実践していきます。
第20-0002号 株メイコー	今年度は、環境関連予算が増額されボイラー更新にともない、燃料を重油から都市ガスに変更することができました。 環境意識を高めるため、廃棄物の分別に対するメリットを朝礼その他で説明する等、今年度も小さな効果と思われませんが、地道な活動を継続していきます。
第20-0003号 株東牧土木	目標としている取組は日常的になっております。 今期はエアコンを交換予定としております。最新のエコ対応でさらに消費電力の削減が出来ると思います。 今後も環境負荷の低減、環境の向上に努めていきます。
第20-0005号 株青柳商店	環境意識を持って、取り組めるよう努めました。 今後も出来る事は取り組んでいきたいと思っております。
第20-0006号 株山勝	当社は経費削減の意味合いも含め、使用エネルギーの削減を恒常的に取り組んでいる。 今回は電気使用量および燃料等使用量ともに「増加」の結果となったが新設設備 (10tクレーンおよび1250tシャーリング) の稼働に起因している。ただし、社員の経費削減意識や省エネ意識は高く、今後は漸減していくものと判断している。
第20-0007号 株栄和産業	去年に引き続きコストの低減、リサイクル化、節電を考える取り組みを行っています。 今年度はデマンド計を全工場に設置し電気使用量を確認するなど、環境負荷の低減、環境の向上に務めていきたいと思っております。
第20-0014号 株野中工業	外国人作業が増え、徹底できないケースも時々発生する中、全体的にはまずまずの取組みが出来たものと判断します。

<p>第22-0001号 株紺野企業</p>	<p>今般、行なった取組として、新型コロナウイルス蔓延に伴い事業所及び休憩所に電解水（次亜塩素酸ナトリウム）加湿器を設置しました。（※99.99%瞬時に滅菌）回収作業を行うドライバーには電解水のスプレーを渡し感染への予防を行い、従業員全員に4月2,000枚、5月2,000枚を確保し、マスクの供給を行った。また、例年どおり敷地内の緑化にゴーヤとサンパチェンスを一緒に植えるグリーンカーテンにより、さらなるCO2削減を行なったことと新たに花壇を造ったこと、継続的施設として機械選別施設に重点対照とし、金属くず（スチール缶、アルミ缶）、PETボトル、ガラス瓶等の選別を開始しました。カーボンオフセットも導入し受入れ廃棄物に対してオフセット（相殺）していくことを採用しております。</p> <p>当事業所では、継続的に行われているエコアクション21（更新審査R2.3.12済）の環境活動の中で主に燃料使用量の削減や工場設備の電気使用量の削減、エアコン使用の際の温度設定並びに排出抑制のための紙の使用量の抑制に取り組んでまいりました。燃料使用量に関しては、車両の増車に伴う低公害車、低燃費車の導入を行い、ガソリン使用量の削減に努めてまいりました。工場設備の向上、倉庫の増設に伴い電気使用量の削減をするためスマートメーターの導入と第一工場動力プレス機の入れ替えを行うことで使用電気の削減予定。ミスト噴霧器を導入し周囲の気温を低減する取組、使用量の把握とともに削減を継続的に行っています。紙の排出量の排出抑制をするために使用済みの用紙の裏紙使用。両面印刷の徹底を継続的に行っています。</p>
<p>第22-0002号 横浜乳業(株)</p>	<p>各種エネルギー使用量削減に取り組み、電力量、燃料量、用水の3項目で削減の結果となりました。</p> <p>また、製造量増加となりましたが、原単位の面ではすべて良化しております。</p> <p>IS014001の活動の中、各職場の取組みが停滞しないように、毎月の会議で進捗状況の確認と見直しを行い全従業員で取り組んだ結果と思えます。</p>
<p>第22-0003号 株川崎製作所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21を運営しており、環境活動は継続できている。 ・会社の業績によって、電気使用量が変化するので、社内での節電を更に徹底していきたい。
<p>第24-0001号 トピー工業(株)</p>	<p>私たちは、悪臭・騒音・振動等の法規制値を遵守すると共に環境配慮製品の開発や製造技術に取り組んでおります。また製造に伴う燃料（作動油、加工油）の削減に向けた活動も進めており、省エネルギー化では顕著な実績をあげることができました。令和2年度も設計・生産技術パフォーマンスの向上を目標に品質、生産性の改善、省資源化、廃棄物の削減の活動に注力して参ります。</p>
<p>第24-0005号 有)中電社</p>	<p>令和元年度も『資源循環・有効利用』を重点課題として取り組みました。廃棄物の排出抑制とリサイクルに注力し、建設現場で発生した廃棄物の資源化率向上を推進しています。昨年度程の数値には至りませんでした。継続して3年目という事もあり、定着して来ているものと思えます。</p> <p>今後も環境負荷の低減に向けた日々の努力を継続して参ります。</p>
<p>第24-0006号 株かなしんオフセット</p>	<p>各部署で環境負荷の低減を行い、前年度と比較して現状維持及びわずかですが削減をする事ができました。引き続き環境負荷の低減を行います。</p>
<p>第25-0001号 武田商事(株)</p>	<p>本年度の取組内容において大きな変化はなかったが、新たに事務書類等の保管に際し電子化を始めた。</p> <p>まだ少量なので随時拡大していきたい。</p>

<p>第25-0002号 秋本食品(株)</p>	<p>当社は、食品製造会社のため食の安全を守る国際標準「HACCP」を導入し、更なる食品の安全・安心の向上に取り組んでおります。従いまして、ISO14001の認証を10年以上継続してまいりましたが、一定の成果並びに従業員個々の意識も環境への配慮が浸透したことから、ISO14001の認証を返上いたしました。社内的に環境負荷の低減に取り組んでおります。</p>
<p>第25-0003号 (株)高座豚手造りハム</p>	<p>従業員が環境意識を共有することで、今後新たな取組を行っていきけるようにしたい。今回は大きな取組があまりできなかった。7月からレジ袋等が有料化されるに当り、バイオマス原料を使用した袋作りなどに取組む予定。</p>
<p>第25-0004号 (有)パレ・ド・モンパル</p>	<p>今、環境が悪化して大変な世の中になっています。自分たちで少しでも出来る事をやっつけていこうと思っています。出来るだけゴミを出さない様工夫しているつもりです。</p>
<p>第26-0001号 エムケーチーズ(株)</p>	<p>社員全員が環境意識を持って取り組むことができました。引き続き環境負荷の低減に向けて努めていきます。</p>
<p>第26-0006号 明電ケミカル(株)相模事業所</p>	<p>エネルギー、廃棄物の削減を意識しているが、目標項目によっては単なる数値目標ではなく（生産）原単位で考えないと達成が難しい項目がある。</p>
<p>第26-0007号 (株)アサヒコ</p>	<p>目標を掲げる事で個々の意識を高め積極的に取り組む事が出来たと思えます。 照明器具はLEDに移行中。エリア毎の人感センサー・プルダウン等設置の継続をし適正管理に努めます。 リサイクル推進に力を入れ、飼料・肥料等に転化し目標の達成に向け環境にやさしい企業へと努めて行きます。</p>
<p>第26-0008号 東ソー(株)東京研究センター</p>	<p>従来より、廃棄物の排出抑制・リサイクル・適正処理や、省エネ機器の導入を進めるなど、環境負荷低減に努めております。本年度も、照明器具のLED化、省エネルギー型空調設備の導入など、CO2排出量の削減に努めており、エネルギー原単位は約8.7%減、CO2排出量は約2.4%減となりました。今後も継続して環境に配慮した取り組みを一層努めていきます。</p>
<p>第26-0009号 日本蛍光化学(株)</p>	<p>従来より取り組んでいた内容でしたが、改めて環境への配慮を確認することができました。 今後は新たな目標を追加できるよう努めてまいります。</p>
<p>第26-0010号 東急リネンサプライ(株)相模工場</p>	<p>社員全員が、常に環境意識を持って取り組むことができました。 取り組み内容は少なかつたかもしれませんが、できることから取り組むように心がけています。 今後も環境負荷低減、環境の向上に努めていきます。</p>
<p>第29-0002号 神奈川日産自動車(株)綾瀬小園店</p>	<p>全社員でリサイクル品（エコマーク商品）利用を推進し、コピー用紙等も裏紙使用する事で、使用量を20%程減らす事が出来ました。 また低公害車販売を強化し、これからも環境負荷の低減・環境の向上を考え取り組んで参ります。</p>

綾瀬市環境報告書 令和元年度取組結果
令和3年2月発行

発行 神奈川県綾瀬市
編集 市民環境部環境保全課環境保全担当
〒252-1192 綾瀬市早川550番地
電話 0467-70-5619 (直通)